

まちなか生活実態調査報告書
【世帯調査】

平成29年10月

鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局
とっとり暮らし支援課

目次

調査の概要	3
1、調査対象者の属性	
1-1) 居住地	4
年齢	5
性別	5
1-2) 家族構成	6
1-3) 世帯の主な収入	6
主に家計を支える方の勤務地	6
1-4) 同居者の介護保険の要支援・要介護状態該当者の有無	6
2、住まいについて	
2-1) 住まいの形態	7
2-2) 家(母屋)の述べ床面積	7
2-3) 住まいの課題	8
2-4) 居住地に対するあなたの評価	9
3、くらしの安心	
3-1) 防災・防犯など、くらしの安心に関する情報を得る主な媒体	10
3-2) 回答者(ご家族)に対する「声かけ」の頻度、「声かけ」の主な相手	11
3-3) 生活の不安について相談できる人の有無、相談をする主な相手	12
3-4) 災害が発生した場合の避難場所について、家族での話し合い	13
3-5) 災害が発生した場合に不安に思うこと(自由記述)	13
3-6) ご家族での防災対策	14
3-7) お住いの地域に自主防災組織があったら参加するか	15
4、交通、買い物、通院	
(1)食料品や日用品の調達状況について	
4-1-1) 食料品や日用品の主な調達者	16
4-1-2) その方の自動車運転免許の有無	16
4-1-3) 昼食の準備状況	17
4-1-4) 夕食の準備状況	17
4-1-5) 買い物の頻度	18
4-1-6) 日常の買い物先、家から買い物先までの距離、主な交通手段	18.19
配送(又は移動販売)サービスの利用意向	20
4-1-7) そのお店を利用する理由	21
(2)通院状況について	
4-2-1) 医療機関の主な利用者	22
4-2-2) その方の自動車運転免許の有無	22
4-2-3) 通院の頻度、家から通院先までの距離、主な交通手段	23.24
(3)バスについて	
4-3-1) バスを利用しない主な理由、最寄りのバス停までの距離	25.26
(4)外出について(65歳以上の独居世帯のみ)	
4-4-1) 外出の頻度	27
4-4-2) 鳥取県中部地震以降の外出の頻度の変化	27
5、コミュニティ(地域社会)	
(1)近所付き合いの状況/マンション等の中でのお付き合いの状況	
5-1-1) 日常の近所付き合い(マンション等の中でのお付き合い)	28
5-1-2) 日常的な憩いの場の有無	29
5-1-3) マンション等総会への参加	30
5-1-4) マンション内での付き合いのあり方	30
(2)「地域型コミュニティ」(地域の自治会(町内会)単位を基本としたコミュニティへの参加	
5-2-1) 地域の自治会(町内会)の加入状況	31
5-2-2) 最も参加されている地域活動、活動頻度	31.32
最も参加している地域活動が「⑨特に参加していない」の場合の理由	32
5-2-3) 自治会(町内会)で必要だと思う活動、不必要だと思う活動	33
5-2-4) マンション外の近隣住民との付き合いのあり方	34
(3)「テーマ型コミュニティ」(文化系サークル、スポーツ系クラブなど、地域に縛られず共通の目的を持ったコミュニティ)への参加状況	
5-3-1) 最も参加されている活動、活動頻度	35
(4)その他	
5-4-1) 地域の安全・安心な暮らしを守るために協力できると考える取組	36
取組を行うにあたって、支障となっていること(自由記述)	36
6、居住に関する今後の意向	
6-1) 今後の居住意向、転居のきっかけ、転居先	37.38
転居時期、転居先は、親が住んでいる(住んでいた)住居か	39
6-2) 居住環境として優先する条件	40
7、困りごと、不安 (65歳以上の独居世帯のみ)	
7-1) 現在、日常生活で困っていること	41
7-2) 将来に向けて、日頃不安に感じていること	41
7-3) 地域で不足しているサービス・取り組みで必要なもの(自由記述)	42
8、その他、自由意見一覧	43-47

調査の概要

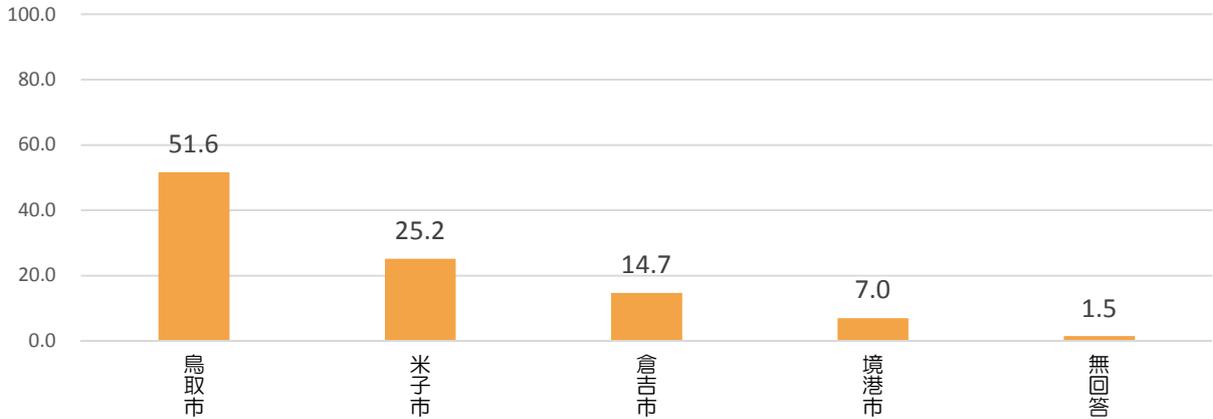
- 1) 調査の目的
県内都市部における人口減少・高齢化の進行に伴うコミュニティ活動の停滞、災害時対応への不安、空き家の増加、買い物弱者の発生などの実態把握と支援施策検討の基礎資料とする。
- 2) 調査対象
(1) 世帯調査：指定した16地区から無作為に抽出した世帯
(2) 自治会（町内会）調査：指定した16地区の全自治会（町内会）
- 3) 調査地区
鳥取市：久松、醇風、遷喬、日進、明德、中ノ郷、末恒、若葉台【新規】
米子市：啓成、明道、就将、義方（各地区の一部）、永江【新規】
倉吉市：成徳、明倫
境港市：境
- 4) 調査内容
(1) 世帯調査
世帯の状況、住まい、くらしの安心、交通、買い物、通院、コミュニティ、居住に関する今後の意向、困りごと、不安その他に関する事項
(2) 自治会（町内会）調査
自治会（町内会）の状況、くらしの安心、生活環境（交通、店舗、医療）、コミュニティ、困りごと、不安その他に関する事項
- 5) 調査方法
配布調査（世帯調査は無記名調査）、郵送回収
- 6) 調査基準日
平成29年6月1日
- 7) 調査客対数
(1) 世帯調査：14,189世帯
(2) 自治会（町内会）調査：275自治会（町内会）
- 8) 回答率
(1) 世帯調査：30.1%（4,265／14,189世帯）
(2) 自治会（町内会）調査：68.0%（187／275自治会（町内会））
- 9) 調査結果の数値について
(1) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記しています。
※複数回答可能な項目については、回答対象者の総数を記載しています。
(2) 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって回答比率の合計は必ずしも100%とならない場合があります。
(3) 見やすさ考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は表記から割愛している場合があります。
(4) 図表によっては、回答割合の高い順に並べ替えている場合があります。

1、調査対象者の属性

1-1) 居住地、年齢、性別

居住地

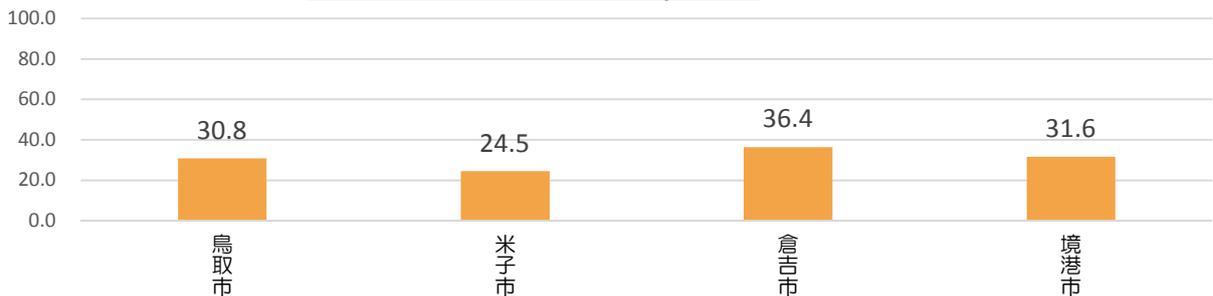
回答者比 (%) 全体 (N=4,265)



居住地地域別回答数

	鳥取市								米子市					倉吉市		境港市	無回答	合計
	久松地区	醇風地区	遷喬地区	日進地区	明德地区	中ノ郷地区	末恒地区	若葉台地区	啓成地区	明道地区	就将地区	義方地区	永江地区	成徳地区	明倫地区	境地区		
回答数 (人)	229	263	191	268	271	289	350	341	158	176	280	216	243	301	327	297	65	4,265
割合 (%)	5.4	6.2	4.5	6.3	6.4	6.8	8.2	8.0	3.7	4.1	6.6	5.1	5.7	7.1	7.7	7.0	1.5	100.0
	51.6								25.2					14.7		7.0	1.5	100.0

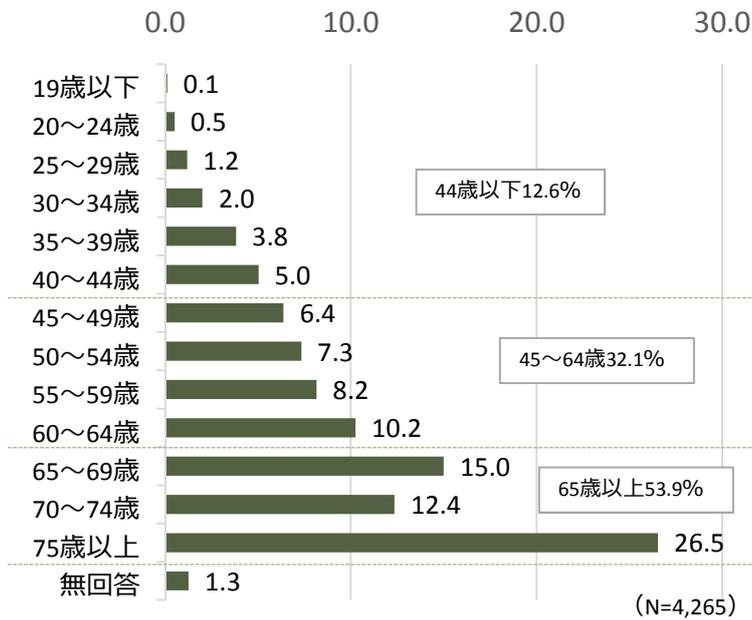
回答率 (%) 全体 (N=4,265)



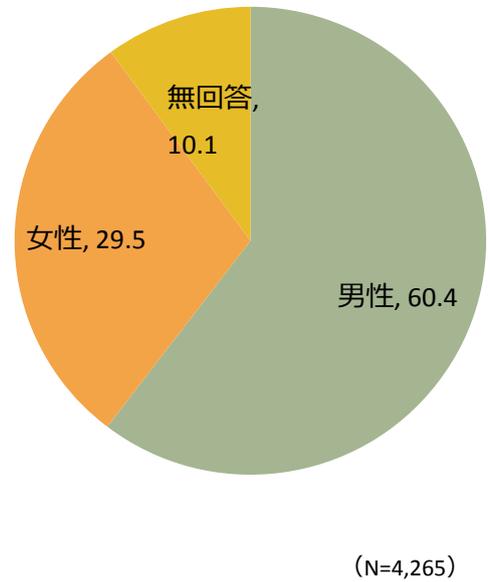
居住地地域別回答率 (%)

	鳥取市								米子市					倉吉市		境港市	無回答	合計
	久松地区	醇風地区	遷喬地区	日進地区	明德地区	中ノ郷地区	末恒地区	若葉台地区	啓成地区	明道地区	就将地区	義方地区	永江地区	成徳地区	明倫地区	境地区		
配布数 (件)	7,146								4,379					1,724		940	—	14,189
回答数 (人)	2,202								1,073					628		297	65	4,265
回答率 (%)	30.8								24.5					36.4		31.6	—	30.1

年齢 (%)

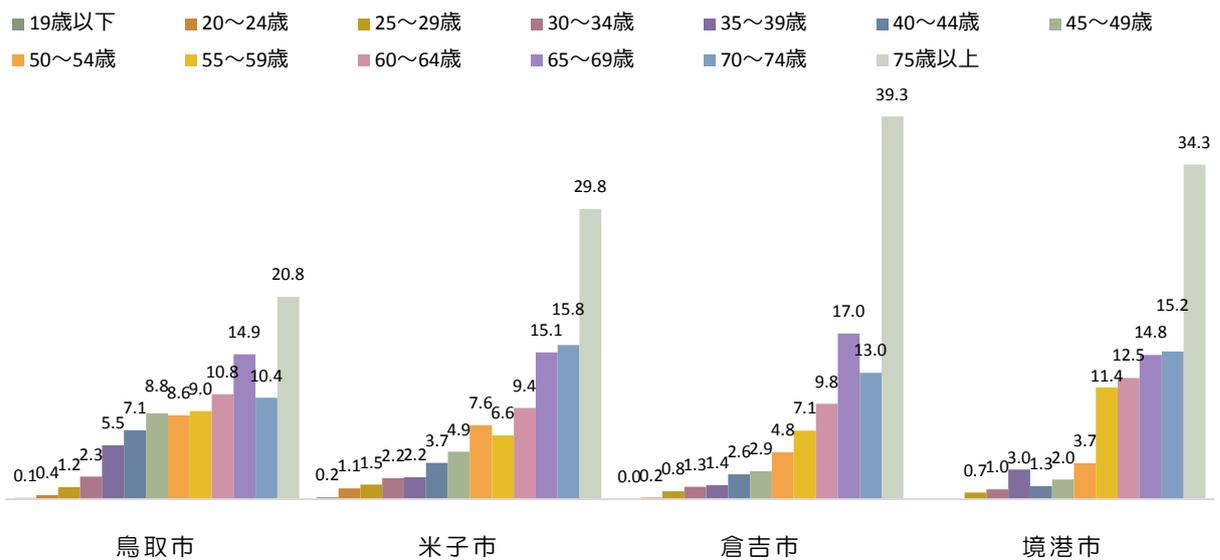


性別 (%)



調査対象者の年齢は75歳以上が26.5%と最も多い。
また、65歳以上が53.9%と約半数を占めている。

居住地域別 年齢構成比 (%) 全体 (n = 4,211)



鳥取市：
44歳以下16.7%
45~64歳37.2%
65歳以上46.1%

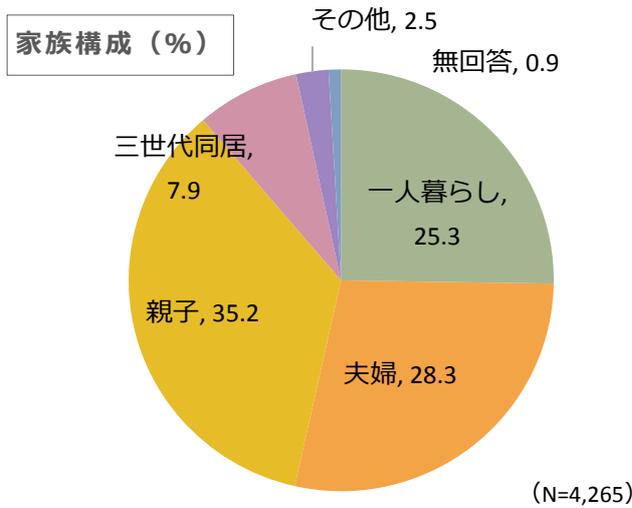
米子市：
44歳以下11.0%
45~64歳28.4%
65歳以上60.7%

倉吉市：
44歳以下6.3%
45~64歳24.5%
65歳以上69.2%

境港市：
44歳以下6.1%
45~64歳29.6%
65歳以上64.3%

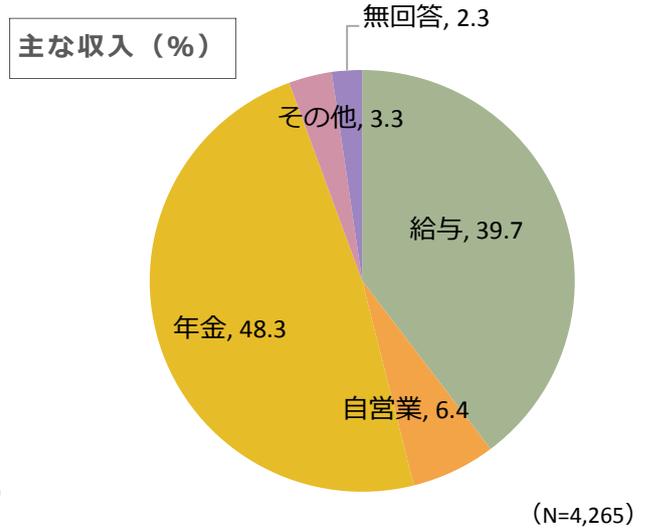
居住地域別に年齢をみると、大差はないが、倉吉市、境港市が比較的高年齢となっている。

1-2) 家族構成



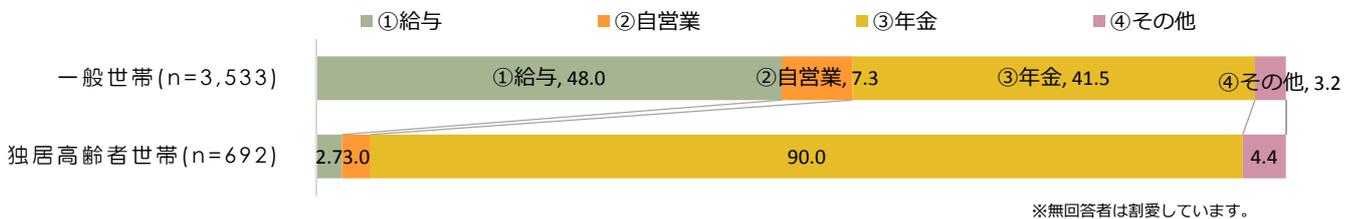
同居世帯（夫婦、親子、三世代など）が71.4%となった。また、一人暮らしと回答した1,077人のうち692人（全体の16.2%）は独居高齢者であった。
※独居高齢者：65歳以上で一人暮らしの方

1-3) 世帯の主な収入

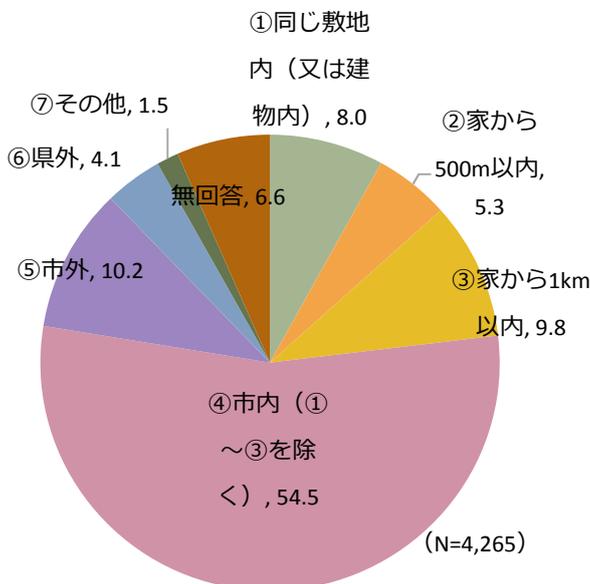


回答者の年齢層が65歳以上が半数以上であることから、年金が48.3%と最も多くなった。

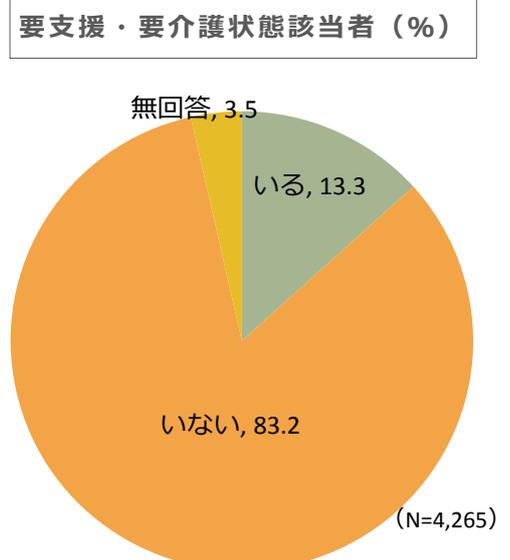
(参考) 主な収入 世帯類型別 (%)



主に家計を支える方の勤務地 (%)



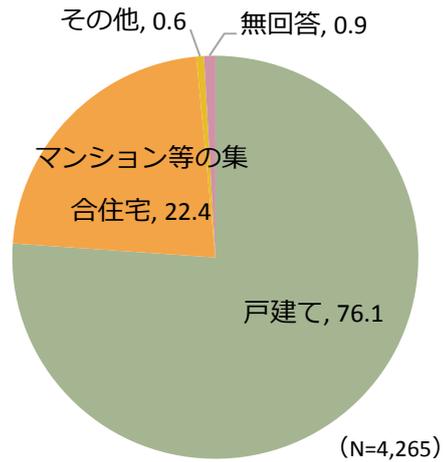
1-4) 同居者の介護保険の要支援・要介護状態該当者の有無



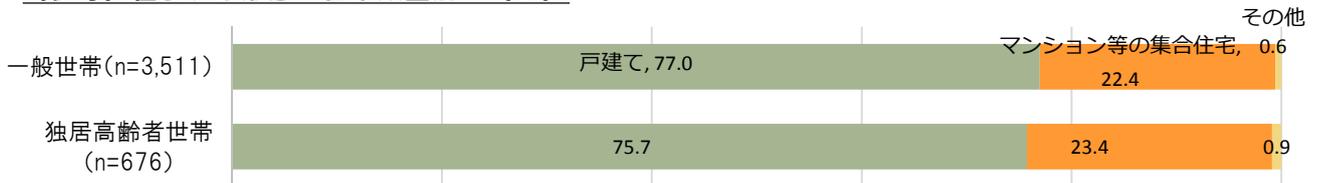
2、住まいについて

2-1) 住まいの形態

住まいの形態 (%)



(参考) 住まいの形態 世帯類型別 (%)



※無回答者は割愛しています。

住まいの形態/居住エリア (%)

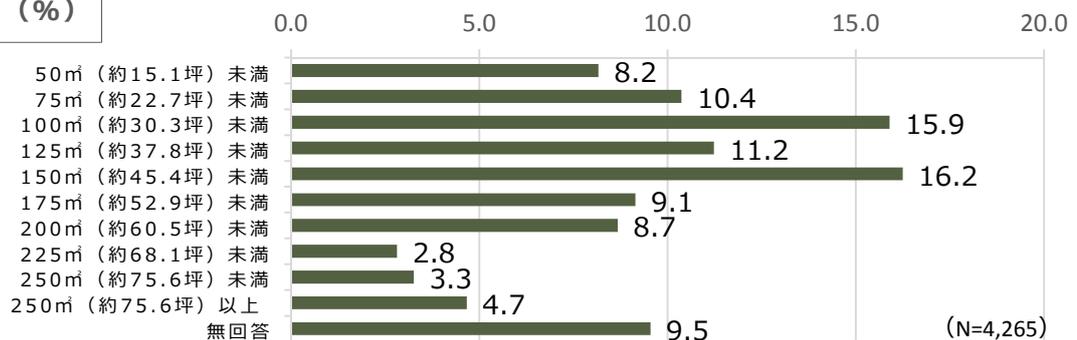
	鳥取市				米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)	
	中心※1	中活※2	郊外※3		中心	中活	郊外	中心	中心			
①戸建て	75.3	60.6	61.6	93.6	66.1	67.2	67.2	62.1	89.3	92.6	64.6	76.1
②マンション等の集合住宅	23.6	37.9	37.5	5.8	31.7	30.6	30.6	35.4	8.8	6.7	30.8	22.4
③その他	0.6	0.9	0.3	0.2	0.7	0.7	0.7	0.4	0.8	0.3	1.5	0.6
無回答	0.5	0.6	0.6	0.4	1.6	1.4	1.4	2.1	1.1	0.3	3.1	0.9
合計	51.6	28.7	16.6	23.0	25.2	19.5	19.5	5.7	14.7	7.0	1.5	100.0

「戸建て」が76.1%と最も多い。世帯類型でみると、独居高齢者世帯のマンション等の集合住宅及びその他が増えている傾向があるが大差はない。
 居住エリア別でみると、戸建ては境港市が92.6%と最も多く、マンション等の集合住宅は、鳥取市の中心地区で37.9%となり最も多い。

※1「中心:中心地区」 ※2「中活:中心市街地活性化基本計画区域」 ※3「郊外:郊外地区」

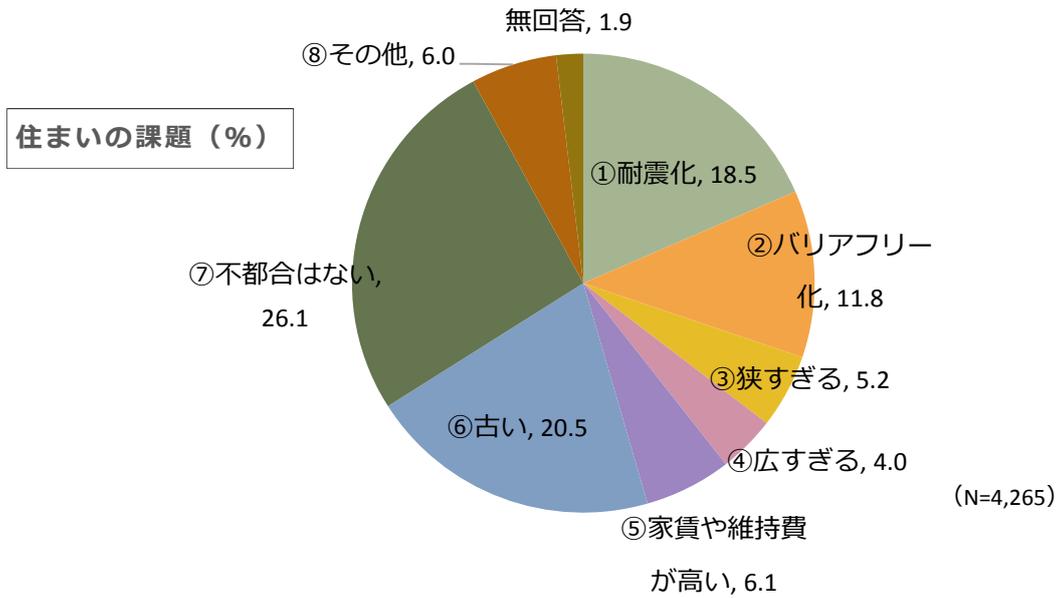
2-2) 家(母屋)の述べ床面積

延床面積 (%)

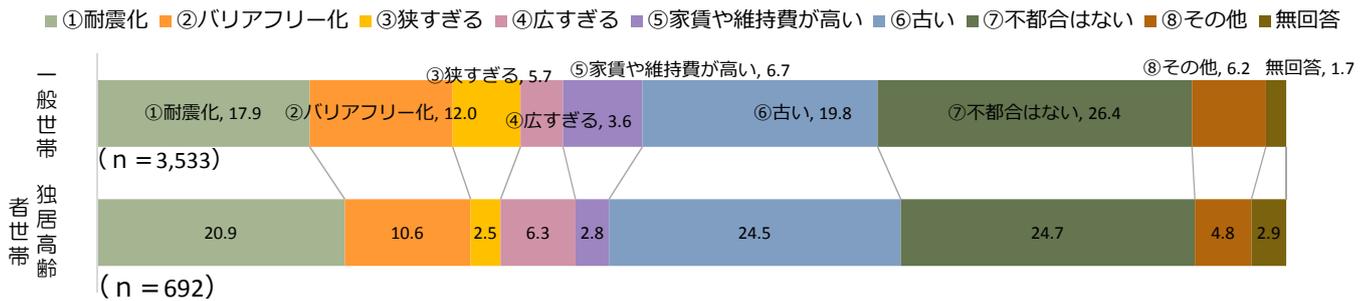


(N=4,265)

2-3) 住まいの課題（3つまで）



(参考) 世帯類型別 住まいの課題 (%) 全体 (n = 4,225)



住まいの課題/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外						
①耐震化	16.4	17.0	16.7	15.7	18.7	18.4	18.4	19.7	23.7	19.8	19.0	18.5
②バリアフリー化	10.7	9.0	9.7	12.9	11.8	11.0	11.0	14.4	13.3	16.1	9.5	11.8
③狭すぎる	6.0	6.9	6.8	4.7	5.5	5.2	5.2	6.8	4.2	0.9	6.0	5.2
④広すぎる	3.5	2.5	2.8	4.8	3.9	4.4	4.4	2.0	5.0	6.4	2.4	4.0
⑤家賃や維持費が高い	7.4	8.9	9.0	5.5	6.0	6.6	6.6	4.2	2.6	3.9	8.3	6.1
⑥古い	17.1	20.4	19.4	12.7	24.4	24.7	24.7	23.4	24.4	22.5	14.3	20.5
⑦不都合はない	30.2	27.2	27.7	34.3	22.9	23.7	23.7	20.3	18.8	23.6	32.1	26.1
⑧その他	7.0	6.4	6.1	7.8	4.7	4.4	4.4	5.9	5.6	5.0	6.0	6.0
無回答	1.7	1.7	1.6	1.7	2.0	1.6	1.6	3.4	2.2	1.8	2.4	1.9
合計	49.8	28.4	16.2	21.4	25.6	19.8	19.8	5.8	16.0	7.2	1.4	100.0

「不都合はない」が26.1%と最も多く、次いで古い20.5%、耐震化18.5%となった。居住エリア別で見ると、鳥取市の郊外及び倉吉市では、「古い」より「耐震化」が上回っている。特に、鳥取県中部地震の被災地であった倉吉においては、他地域に比べ「耐震化」の割合が大きい。

2-4) 居住地に対するあなたの評価（3つまで）

居住地の評価（%）



居住地の評価／居住エリア（人）

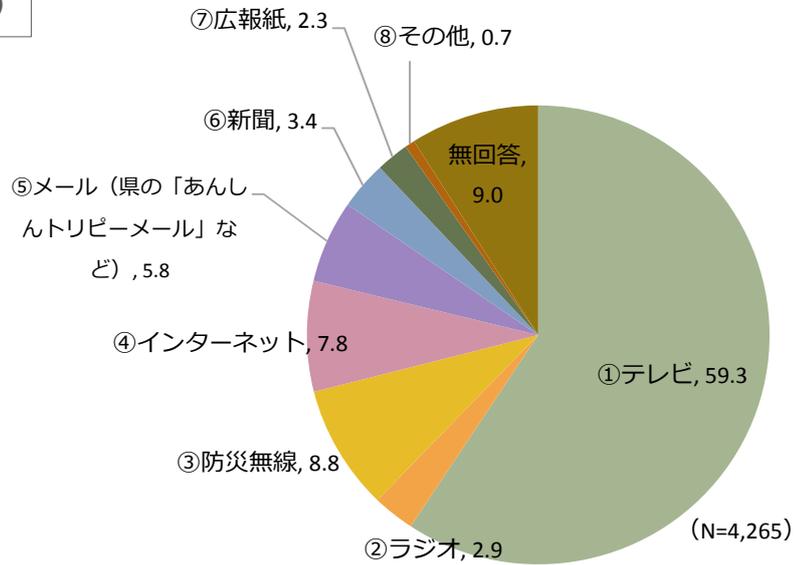
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心					
①職場が近い	358	247	133	111	181	161	161	20	68	43	10	660	6.2
②公共交通の便が良い	552	468	297	84	334	313	313	21	128	33	14	1,061	10.0
③駅（郊外駅を含む）が近い	465	350	265	115	244	244	244	0	2	40	13	764	7.2
④食料品や日用品のお店が近い	827	619	375	208	330	281	281	49	373	180	26	1,736	16.4
⑤医療機関が近い	547	432	267	115	460	423	423	37	280	124	16	1,427	13.5
⑥静か	677	225	95	452	211	108	108	103	150	57	16	1,111	10.5
⑦教育環境が良い	112	66	33	46	17	14	14	3	21	3	0	153	1.4
⑧自然環境が良い	533	93	31	440	121	49	49	72	105	19	9	787	7.4
⑨庭や家庭菜園がある	208	46	26	162	52	27	27	25	51	32	3	346	3.3
⑩まとまった土地を確保できている	101	20	10	81	28	23	23	5	20	11	2	162	1.5
⑪家の管理が容易	113	90	42	23	70	54	54	16	17	6	4	210	2.0
⑫地価が高くない	48	8	5	40	20	11	11	9	6	11	1	86	0.8
⑬親世帯又は子世帯と同居で安心	71	22	12	49	33	28	28	5	27	20	1	152	1.4
⑭親世帯又は子世帯と近居（又は往来が楽）で安心	174	93	56	81	100	71	71	29	60	40	4	378	3.6
⑮住民同士の助け合いなど、人間関係が良い	258	130	80	128	158	109	109	49	141	43	10	610	5.8
⑯人間関係に束縛されず、自由気ままに暮らせる	318	185	100	133	201	148	148	53	71	50	12	652	6.2
⑰その他	66	30	20	36	37	19	19	18	12	5	1	121	1.1
無回答	76	41	19	35	48	34	34	14	31	13	9	177	1.7
合計	5,504	3,165	1,866	2,339	2,645	2,117	2,117	528	1,563	730	151	10,593	100.0

「食料品や日用品のお店が近いが」16.4%と最も多く、次いで「医療機関が近い」13.5%、静か10.5%となった。居住エリア別で見ると、鳥取市及び米子市の「郊外」では、「静か」との回答が最も多く、次いで「自然環境が良い」の順となっており、中心地区で最多となっている「食料品や日用品のお店が近い」は3位である。

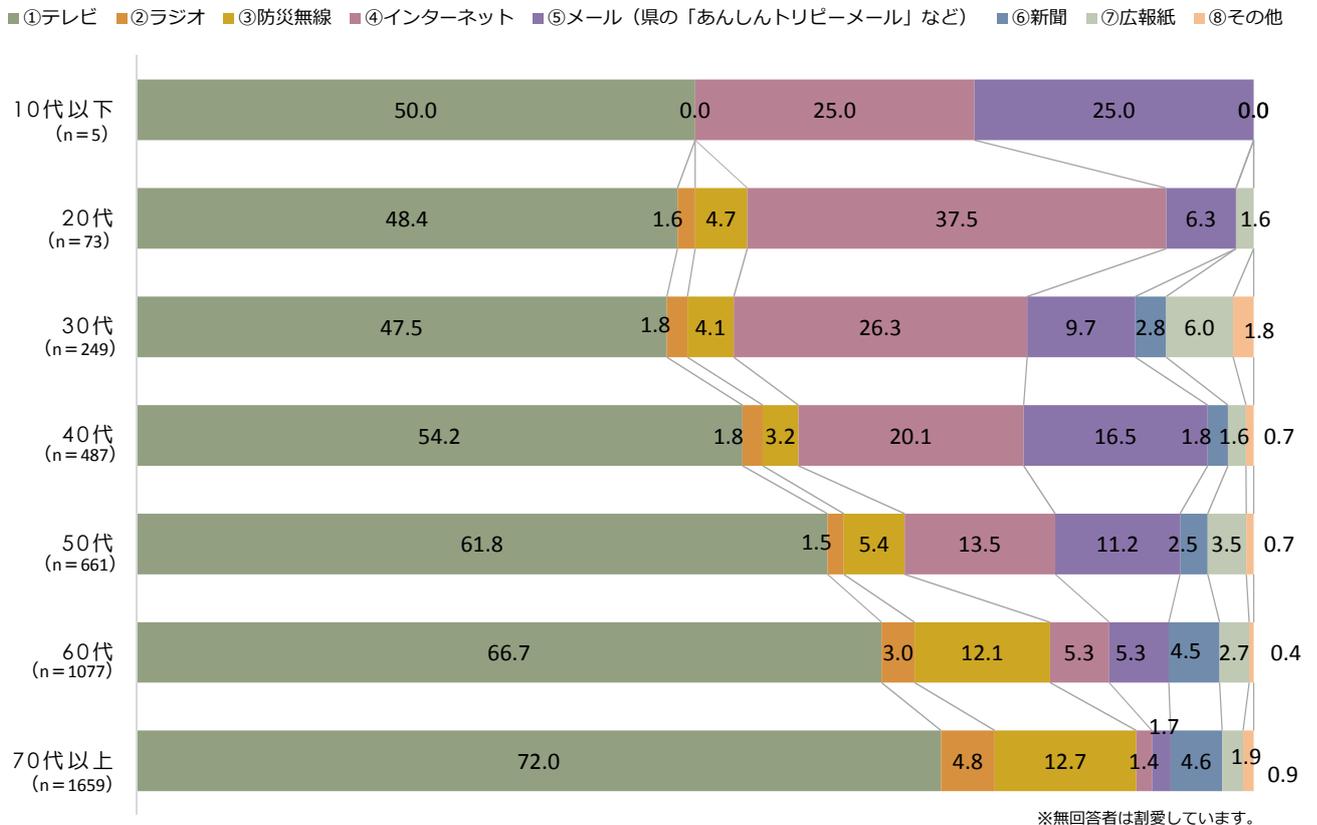
3、くらしの安心

3-1) 防災・防犯など、くらしの安心に関する情報を得る主な媒体

情報を得る主な媒体（%）



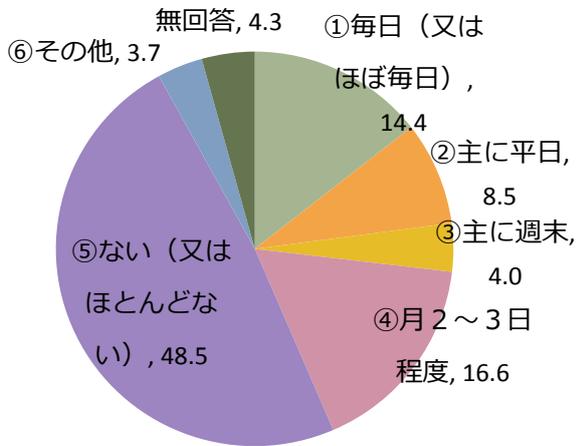
（参考）年代別 情報を得る主な媒体（%）全体（n=4,211）



「テレビ」が59.3%と最も多く、次いで「防災無線」8.8%、「インターネット」7.8%となった。年代別で見ると、「テレビ」「ラジオ」「防災無線」の割合は年代とともに比例して多くなる傾向にある。また、「インターネット」は年代が上がるとともに少なくなる傾向にある。

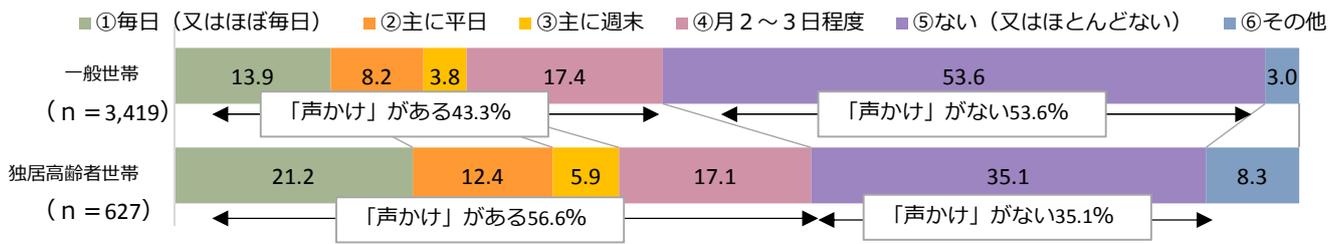
3-2) 回答者（ご家族）に対する「声かけ」の頻度

「声かけ」の頻度（%） (N=4,265)



「ない（又はほとんどない）」が48.5%と最も多く、次いで、「月2～3回」が16.6%、「毎日（又はほぼ毎日）」が14.4%の順となった。世帯類型でみると、声かけがあると回答した割合は、独居高齢者の方が多くなっている。

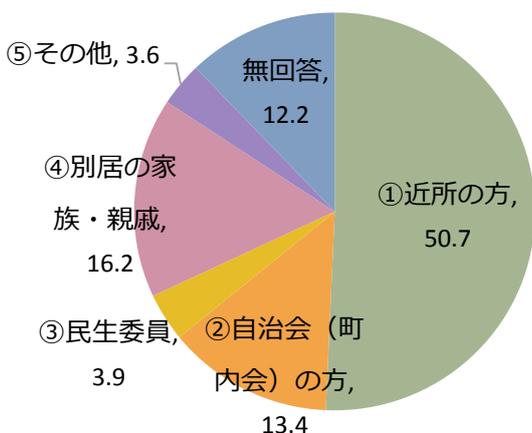
（参考）世帯類型別 「声かけ」の頻度（%）全体（n=4,046）



※無回答者は割愛しています。

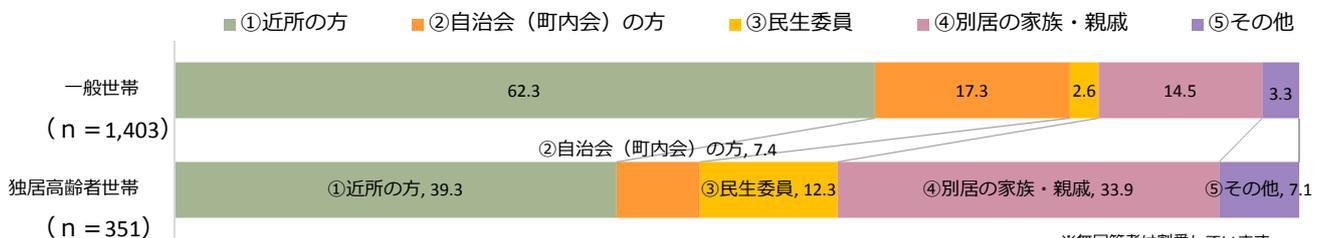
→回答者（ご家族）に対する「声かけ」の主な相手

「声かけ」の主な相手（%） (n=2,014)



「近所の方」が50.7%と最も多くなり、次いで「別居の家族・親戚」が16.2%、「自治会（町内会）の方」が13.4%の順となった。世帯類型別でみると、独居高齢者では、一般世帯に比べ「民生委員」「別居の家族・親戚」の割合が増えている。

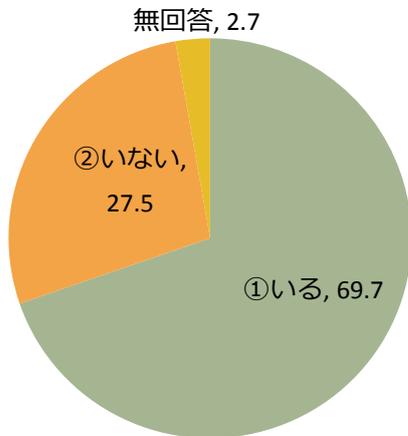
（参考）世帯類型別 「声かけ」の主な相手（%）全体（n=1,754）



※無回答者は割愛しています。

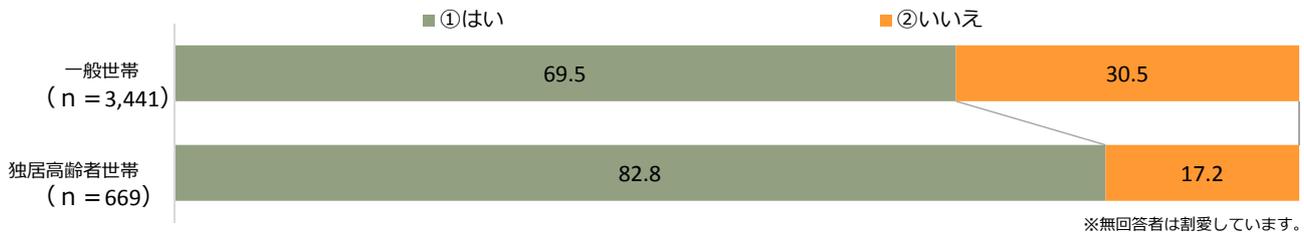
3-3) 生活の不安について相談できる人の有無【H29新規】

相談相手の有無 (%) (N=4,265)



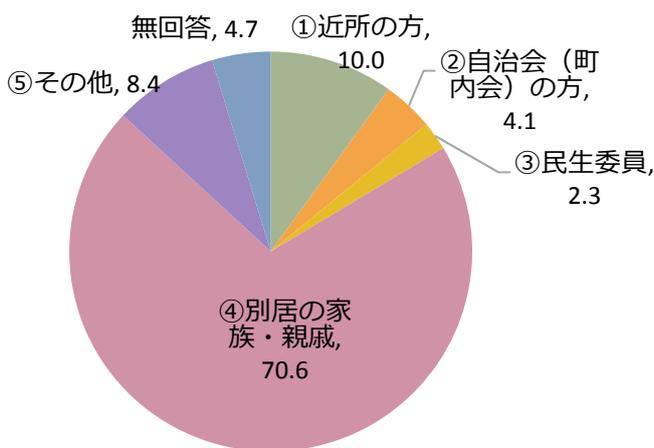
「いる」が69.7%となり、約7割の人が相談相手がいると回答した。世帯類型別でみると、独居高齢者世帯では約8割の回答者が「いる」と答え、一般世帯より多くなった。

(参考) 世帯類型別 「相談相手」の有無 (%) 全体 (n=4,110)



→相談をする主な相手

相談をする主な相手 (%) (n=2,973)



「別居の家族・親戚」が70.6%と最も多くなった。次いで、「近所の方」が10.0%、「その他」が8.4%の順となった。

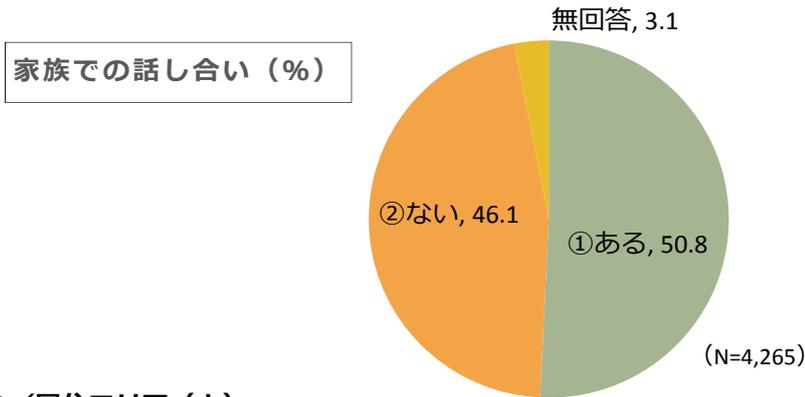
世帯類型別でみると、一般世帯と独居高齢者世帯の「自治会 (町内会)の方」と「民生委員」の割合は反転している。

(その他の主な記述：同居の家族、兄弟姉妹、友人、職場等)

(参考) 世帯類型別 相談をする主な相手 (%) 全体 (n=2,806)



3-4) 災害が発生した場合の避難場所について、家族での話し合い【H29新規】



家族での話し合い/居住エリア (人)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心					
①ある	1,147	612	354	535	450	362	362	88	376	157	36	2,166	50.8
②ない	999	563	326	436	577	433	433	144	229	133	29	1,967	46.1
無回答	56	47	29	9	46	35	35	11	23	7	0	132	3.1
合計	2,202	1,222	709	980	1,073	830	830	243	628	297	65	4,265	100.0

家族で話し合ったことがあると、約半数が回答した。
居住エリア別でみると、米子市では話し合ったことがない回答者の方が多い。

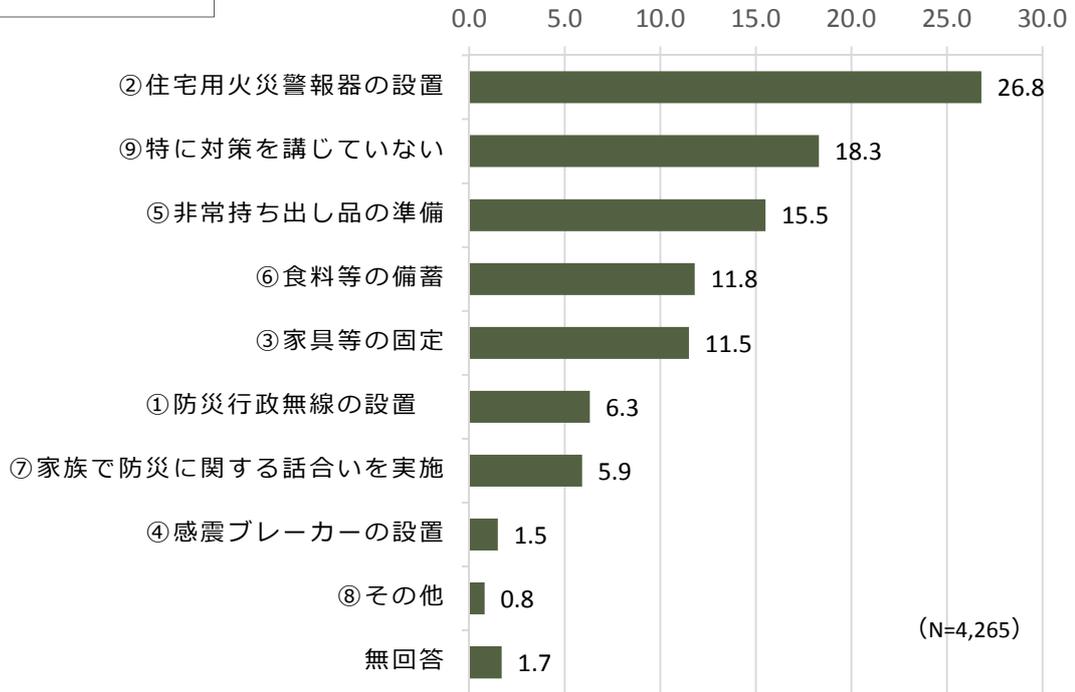
3-5) 災害が発生した場合に不安に思うこと (自由記述)【H29新規】

- 昼間(平日)年寄が1人で家に居るので災害がおこった時不安
- 高齢者がいるので、上手に避難する事が出来るか、又避難場所に上手に対応できるか。
- 古い建物が多いので倒壊しないか心配。
- 離れて独り暮らしをしている母のこと。(親世帯の避難。)
- 家族が外出している場合の連絡方法と集合場所の決定。前もって必ず決めておく
- 避難場所がわからない。 ● 1人暮らしのため身近に頼れる人がいない。
- 子どもが障がい者(知的及び身体)なので避難が難しい。
- 火災、地震の発生時の、道路が狭く、木造家屋が密集しているための不安。
- 大雨で千代川が決壊した時に、どのような対策をすればいいかわからない。
- 境港市は平地。津波などの場合、逃げ場がない。
- 昼間であれば家族バラバラなので安否確認するのが難しい。
- 災害によって家屋等に被害が出た場合復旧にむけての経済的な負担。
- 身体障害のため行動することの難しさ。 ● 老人のため動けなくなったときが不安。
- 歩行困難。
- 古いマンションなので、扉が開かなくなり部屋から出るのが大変。非常出口も動線が確保されているか不安。
- 幼子二人を抱えて1人で高層階から逃げることができるか。(配偶者が仕事の時に)
- 情報の受け取り方法がわからない。今住んでいる近隣は集合住宅が多いのでいざという時、避難所に受け入れてもらえるか心配(住民が多いから)。
- 高齢で一人暮らし足が杖なしでは歩行困難のため緊急の避難が不可能である。
- 1人暮らしなので安否を確認してくれる人がいない。
- 鳥取市の屋外スピーカーからの防災放送の音が聞き取りにくいので万一の場合に避難が遅れそうで怖い。避難場所が通常と変わってもわからない。 ● 両隣の古いビルが倒壊するおそれ。
- 子供だけがいる時に災害が発生した場合が不安。ほか

避難する際に、年齢的、身体的な理由で不安があることや、一人暮らしのための不安の声が多く見受けられる。また、避難場所が分からない、避難場所の受け入れが少なく、入れないのではないかと声があった。その他、家族との連絡、情報網での不安、ライフラインの不安、食料、水など、災害後の生活を心配している声も多い。

3-6) ご家庭での防災対策（いくつでも）【H29新規】

ご家庭での防災対策（%）

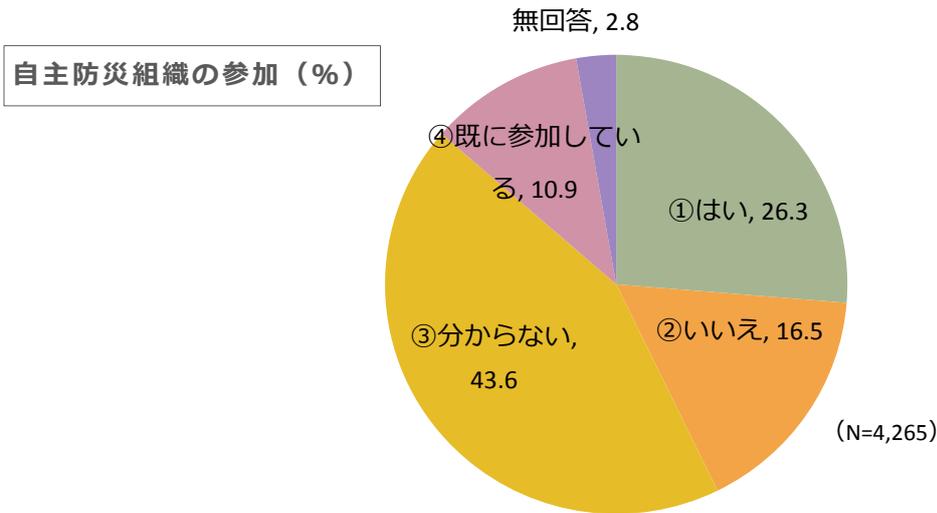


ご家庭での防災対策／居住エリア（%）

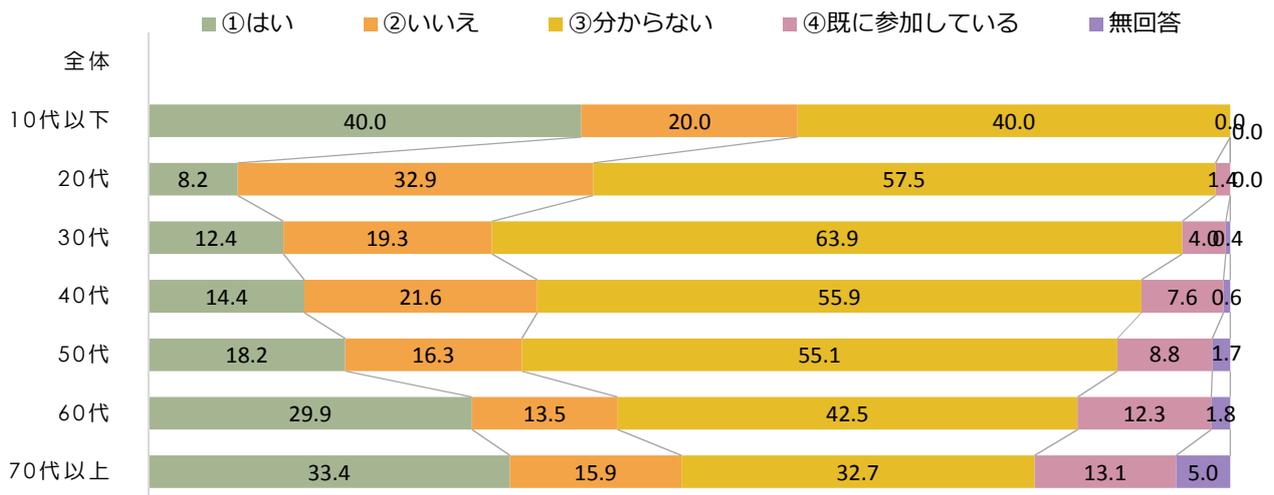
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①防災行政無線の設置	0.8	0.4	0.3	1.4	0.6	0.6	0.6	0.8	26.6	1.6	4.5	6.3
②住宅用火災警報器の設置	26.7	26.3	25.4	27.2	27.8	27.0	27.0	30.7	23.9	33.1	26.4	26.8
③家具等の固定	12.1	12.3	12.7	12.0	11.0	10.7	10.7	12.0	10.2	12.0	13.6	11.5
④感震ブレーカーの設置	1.4	1.1	1.3	1.7	1.5	1.5	1.5	1.3	1.4	2.4	1.8	1.5
⑤非常持ち出し品の準備	16.9	17.6	17.3	16.0	12.4	13.0	13.0	10.4	16.2	13.8	14.5	15.5
⑥食料等の備蓄	12.9	13.2	12.9	12.6	12.1	12.0	12.0	12.3	9.4	9.8	11.8	11.8
⑦家族で防災に関する話し合いを実施	6.7	6.1	6.7	7.5	5.6	5.9	5.9	4.5	4.9	4.5	4.5	5.9
⑧その他	1.0	1.0	0.9	0.9	0.6	0.7	0.7	0.3	0.6	0.8	0.0	0.8
⑨特に対策を講じていない	19.9	20.1	20.7	19.7	25.7	25.8	25.8	25.4	5.6	20.3	21.8	18.3
無回答	1.5	1.8	1.9	1.1	2.7	2.8	2.8	2.1	1.2	1.6	0.9	1.7
合計	49.2	27.5	15.9	21.7	22.0	17.0	17.0	5.0	20.8	6.6	1.5	100.0

「住宅用火災警報器の設置」が26.8%と最も多く、次いで「特に対策を講じていない」18.3%、「非常持ち出し品の準備」が15.5%となった。
 居住エリア別でみると、倉吉市は他エリアに比べ「防災行政無線の設置」が多く、「特に対策を講じていない」は少ない。また、米子市は「特に対策を講じていない」が平均値より多くなっている。

3-7) お住まいの地域に自主防災組織があったら参加するか【H29新規】



(参考) 年代別 自主防災組織の参加 (%) 全体 (n=4,211)



自主防災組織の参加/居住エリア (人)

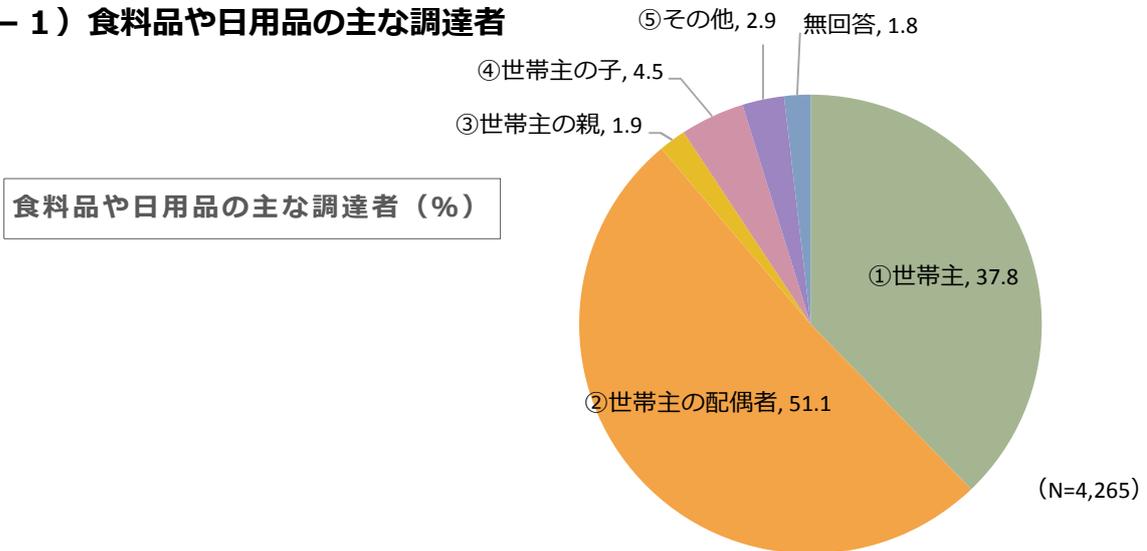
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心					
①はい	502	260	146	242	311	251	251	60	200	86	22	1,121	26.3
②いいえ	373	213	131	160	192	150	150	42	79	47	12	703	16.5
③分からない	957	534	295	423	472	368	368	104	260	149	22	1,860	43.6
④既に参加している	319	176	113	143	68	36	36	32	66	4	6	463	10.9
無回答	51	39	24	12	30	25	25	5	23	11	3	118	2.8
合計	2,202	1,222	709	980	1,073	830	830	243	628	297	65	4,265	100.0

「分からない」が43.6%と最も多く、次いで、「はい」が26.3%となった。
 「既に参加している」と、「はい（参加する）」を合わせると約4割の人に参加意向がある。
 年代別では、年代が高くなるのと比例して参加意向も高くなっている。

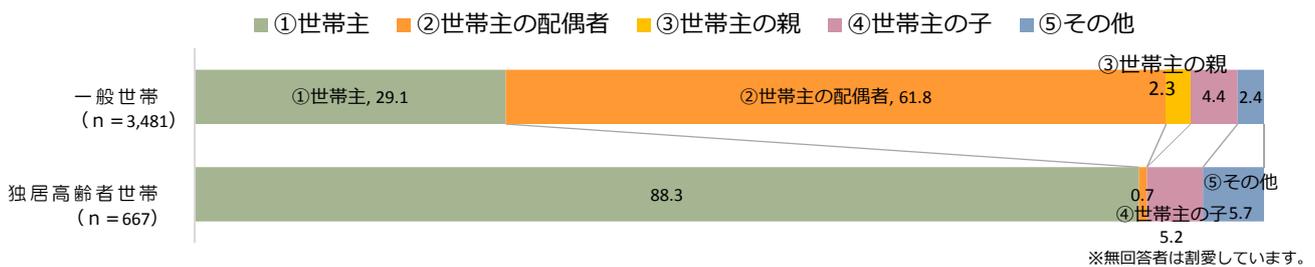
4、交通、買い物、通院

（1）食料品や日用品の調達状況について

4-1-1）食料品や日用品の主な調達者



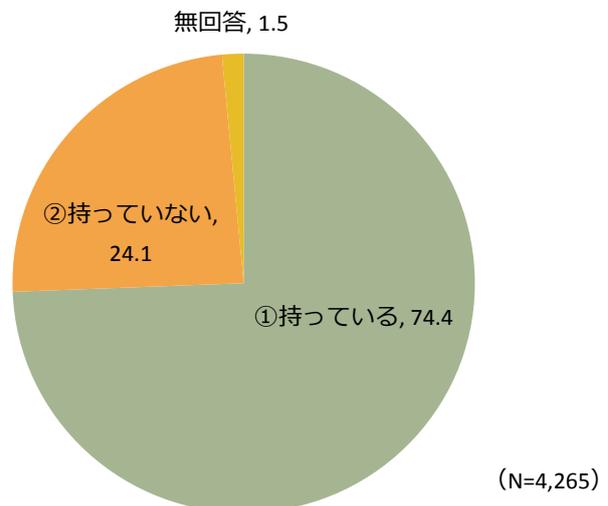
（参考）世帯類型別 食料品や日用品の主な調達者（%）全体（n=4,148）



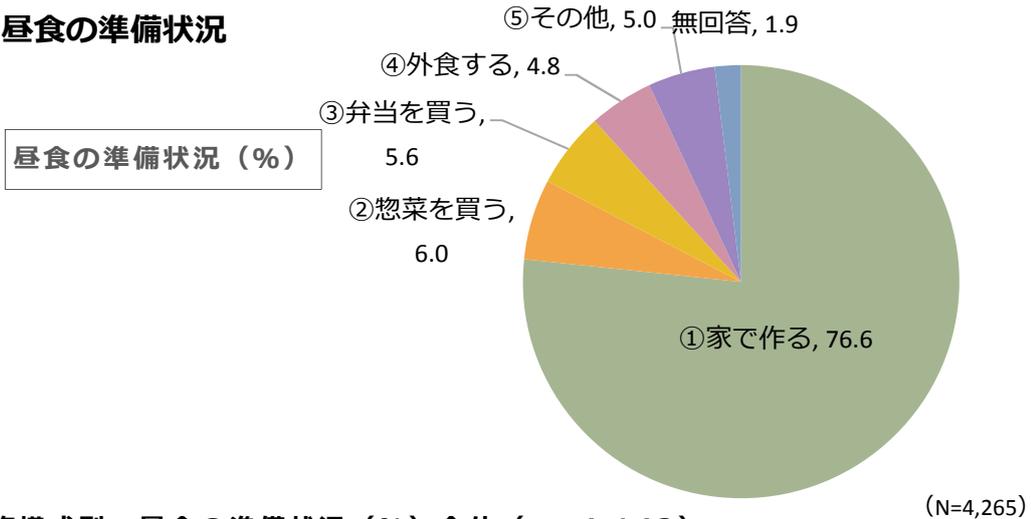
「世帯主の配偶者」が51.1%と最も多く、次いで、「世帯主」が37.8%となった。世帯類型別にみると、独居高齢者世帯では約9割が自身で調達を行っているが、残りの1割は誰かに頼って調達をしている。

4-1-2）その方の自動車運転免許の有無

自動車運転免許の有無（%）



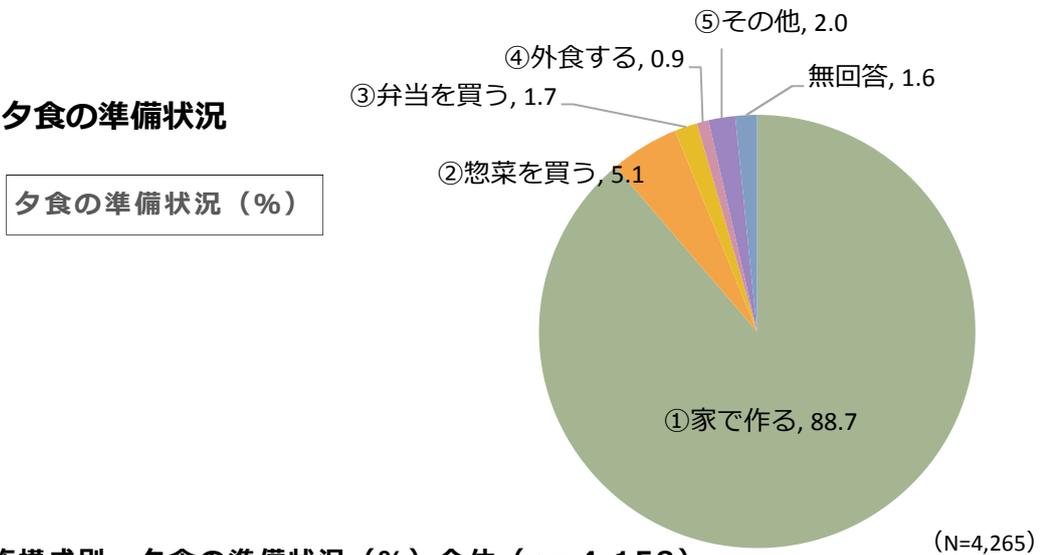
4-1-3) 昼食の準備状況



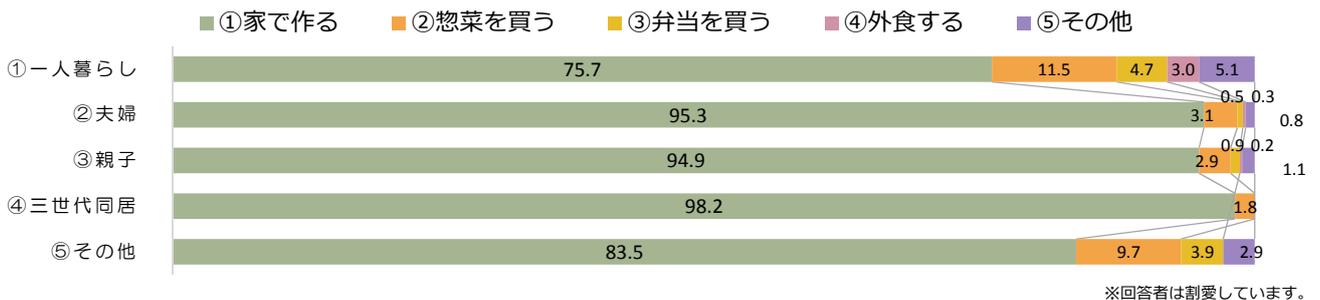
(参考) 家族構成別 昼食の準備状況 (%) 全体 (n=4,143)



4-1-4) 夕食の準備状況



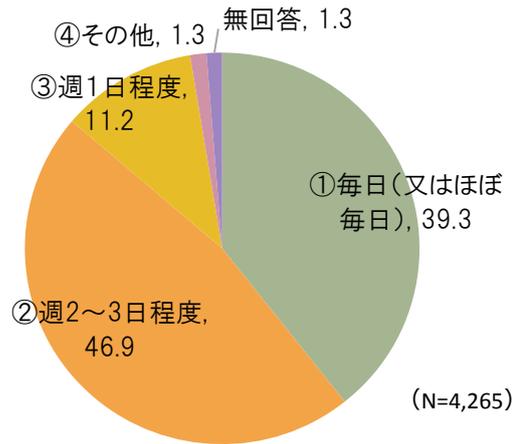
(参考) 家族構成別 夕食の準備状況 (%) 全体 (n=4,158)



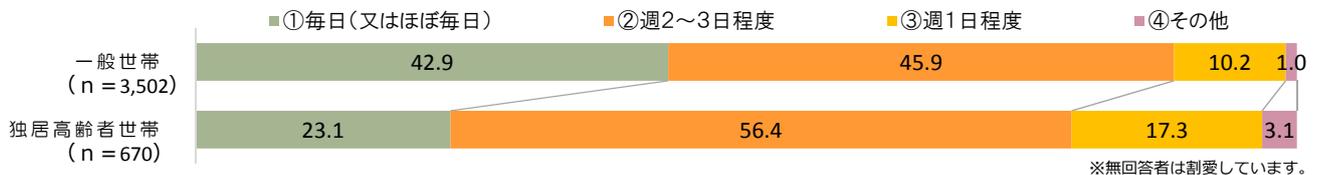
昼食、夕食ともに、「家で作る」が最も多く、次いで、「惣菜を買う」「弁当を買う」の順となっている。また、夕食の方が家で作る割合が多い。

4-1-5) 買い物の頻度

買い物の頻度 (%)



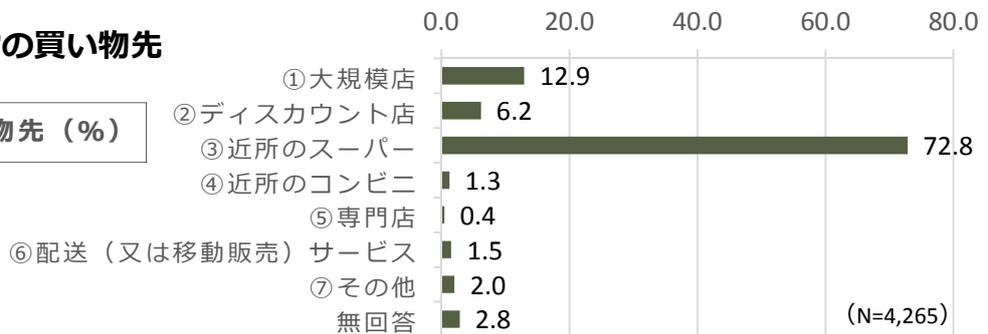
(参考) 世帯類型別 買い物の頻度 (%) 全体 (n = 4,172)



「週2~3日程度」が46.9%と最も多く、次いで「毎日(又はほぼ毎日)」が39.3%、「週1日程度」が11.2%の順となっている。世帯類型別では、一般世帯の方が独居高齢者世帯より買い物の頻度が高い。

4-1-6) 日常の買い物先

日常の買い物先 (%)



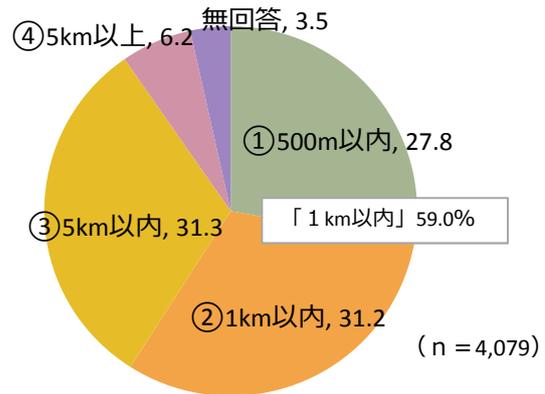
日常の買い物先/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①大規模店	13.5	14.0	14.1	12.9	17.3	20.0	20.0	8.2	3.7	12.8	10.8	12.9
②ディスカウント店	5.2	4.8	3.9	5.7	8.1	6.6	6.6	13.2	4.6	10.1	3.1	6.2
③近所のスーパー	73.9	72.8	73.2	75.3	63.8	63.1	63.1	66.3	85.2	71.0	72.3	72.8
④近所のコンビニ	1.1	1.6	2.0	0.5	2.0	2.5	2.5	0.0	0.8	0.3	3.1	1.3
⑤専門店	0.6	0.6	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.7	0.0	0.4
⑥配送(又は移動販売)サービス	1.5	1.6	1.8	1.4	2.1	1.7	1.7	3.3	1.0	0.7	1.5	1.5
⑦その他	2.0	2.0	2.1	2.0	2.5	2.2	2.2	3.7	1.0	1.7	4.6	2.0
無回答	2.0	2.5	2.0	1.5	3.8	3.5	3.5	4.9	3.8	2.7	4.6	2.8

「近所のスーパー」が72.8%最も多く、次いで「大規模店」12.9%、「ディスカウント店」が6.2%の順となっている。居住エリア別でみると、各エリアで大差はないが、倉吉市は「近所のスーパー」が平均値を上回っており、米子市では「大規模店」が平均値を上回っている。

→家から買い物先までの距離（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）

買い物先までの距離（%）



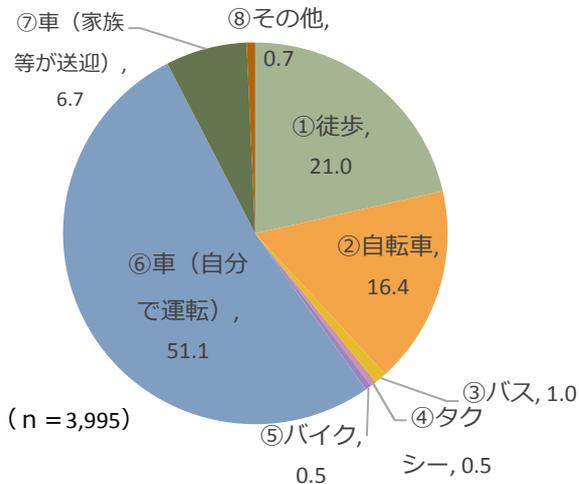
買い物先までの距離／居住エリア（人）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心					
①500m以内	587	444	282	143	194	175	175	19	234	103	18	1,136	27.8
②1km以内	540	349	198	191	382	317	317	65	232	100	18	1,272	31.2
③5km以内	746	318	167	428	332	229	229	103	110	73	17	1,278	31.3
④5km以上	188	31	16	157	54	29	29	25	4	3	2	251	6.2
無回答	62	30	19	32	48	37	37	11	18	8	6	142	3.5
合計	2,123	1,172	682	951	1,010	787	787	223	598	287	61	4,079	100.0

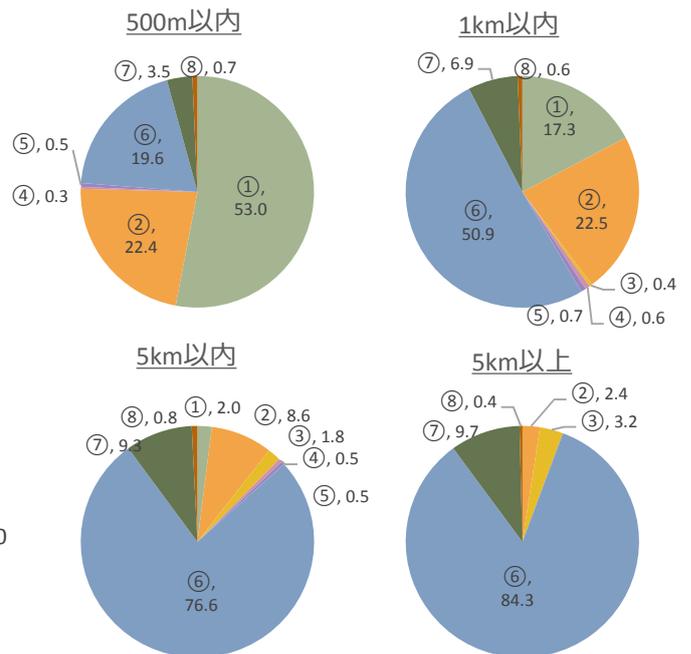
「5 km以内」が31.3%と最も多い。次いで「1 km以内」が31.2%、「500m以内」が27.8%の順となり、約6割の回答者が1 km以内で買い物を済ませている。

→買い物に使う主な交通手段

買い物先に使う主な交通手段



買い物先までの距離別 交通手段（%）

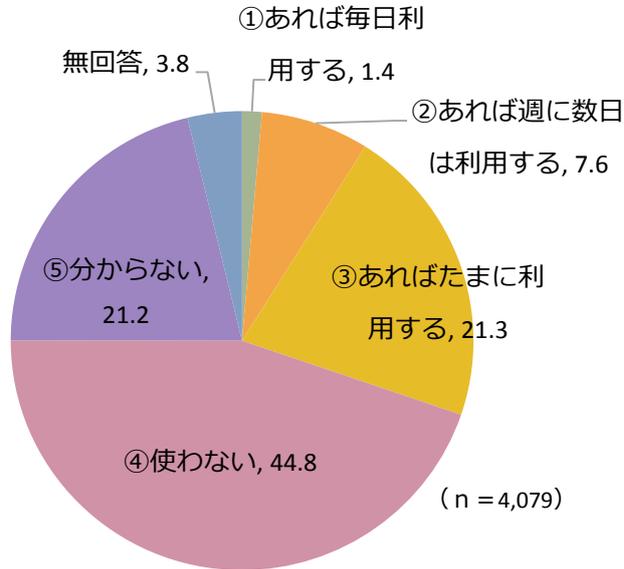


「車（自分で運転）」が51.1%と最も多く、次いで「徒歩」21.0%、「自転車」16.4%となった。買い物先までの距離別で交通手段をみると、距離が近いと徒歩が多く、距離があると車、バス、タクシーの利用が多くなる傾向にあるが、5 km 以上になるとタクシーの利用はない。

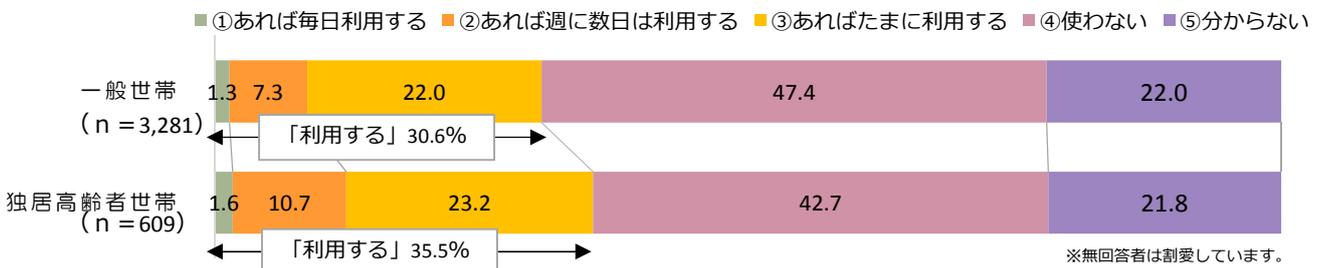
→配送（又は移動販売）サービスの利用意向

（日常の買い物先が「⑥配送（又は移動販売）サービス」以外の方）

配送（又は移動販売）サービスの利用意向（%）



（参考）世帯類型別 配送サービスの利用意向（%）全体（n=3,890）

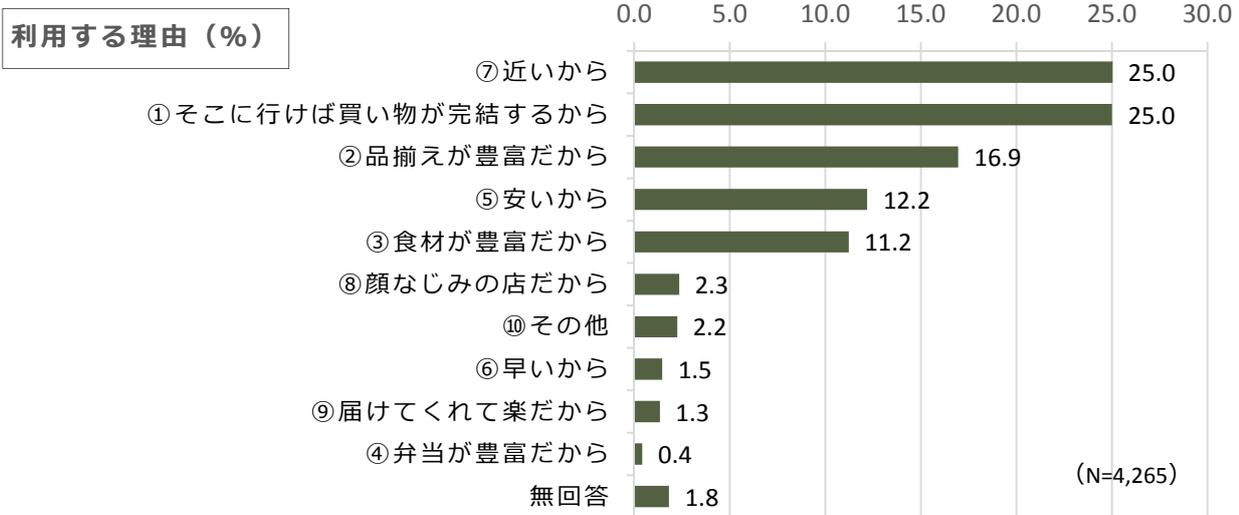


配送サービスの利用意向／居住エリア（%）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①あれば毎日利用する	1.0	1.5	1.3	0.5	2.3	2.7	2.7	0.9	1.2	0.7	3.3	1.4
②あれば週に数日は利用する	6.8	7.0	6.5	6.5	8.0	7.8	7.8	9.0	9.0	8.4	9.8	7.6
③あればたまに利用する	22.0	20.7	21.6	23.6	20.4	19.2	19.2	24.7	22.9	15.7	21.3	21.3
④使わない	45.3	47.3	47.1	42.9	44.6	45.4	45.4	41.7	41.1	50.2	41.0	44.8
⑤分からない	21.1	19.5	20.2	23.1	20.7	21.1	21.1	19.3	21.9	23.3	13.1	21.2
無回答	3.7	4.0	3.4	3.4	4.1	3.9	3.9	4.5	3.8	1.7	11.5	3.8
合計	52.0	28.7	16.7	23.3	24.8	19.3	19.3	5.5	14.7	7.0	1.5	100.0

「使わない」が44.8%と最も多く、次いで「あればたまに利用する」21.3%、「分からない」が21.2%の順となった。
 世帯類型別でみると、一般世帯より独居高齢者世帯の方が利用すると回答した割合が多いが大差はない。居住エリア別では、「毎日利用する」が米子市の中心部では、平均値を上回っている。

4-1-7) そのお店を利用する理由（3つまで）



利用する理由／居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①そこに行けば買い物が完結するから	25.1	25.4	26.4	24.6	26.3	26.7	26.7	24.7	22.1	26.8	21.1	25.0
②品揃えが豊富だから	16.5	16.2	16.5	17.0	18.8	19.0	19.0	18.0	15.0	17.4	17.9	16.9
③食材が豊富だから	10.7	9.9	9.2	11.8	12.4	12.2	12.2	13.1	11.2	9.9	13.8	11.2
④弁当が豊富だから	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5	0.6	0.6	0.2	0.3	0.5	1.6	0.4
⑤安いから	12.3	11.6	11.0	13.3	12.2	11.9	11.9	13.3	12.3	11.8	8.1	12.2
⑥早いから	1.6	1.5	0.8	1.8	0.8	0.8	0.8	0.9	1.6	2.2	1.6	1.5
⑦近いから	26.1	27.4	27.9	24.4	20.3	20.5	20.5	19.3	29.6	25.5	22.0	25.0
⑧顔なじみの店だから	2.1	2.3	2.6	1.8	2.0	2.1	2.1	1.7	3.2	3.6	1.6	2.3
⑨届けてくれて楽だから	1.3	1.4	1.5	1.2	1.5	1.3	1.3	2.4	1.0	1.0	4.9	1.3
⑩その他	2.5	2.3	2.1	2.7	2.7	2.6	2.6	3.2	1.4	0.3	4.9	2.2
無回答	1.5	1.6	1.8	1.3	2.5	2.3	2.3	3.2	2.2	1.0	2.4	1.8
合計	50.8	28.6	16.7	22.2	25.3	19.6	19.6	5.7	15.0	7.4	1.5	100.0

(再掲)問4-1-6) 日常の買い物先

①大規模店	13.5	14.0	14.1	12.9	17.3	20.0	20.0	8.2	3.7	12.8	10.8	12.9
②ディスカウント店	5.2	4.8	3.9	5.7	8.1	6.6	6.6	13.2	4.6	10.1	3.1	6.2
③近所のスーパー	73.9	72.8	73.2	75.3	63.8	63.1	63.1	66.3	85.2	71.0	72.3	72.8
④近所のコンビニ	1.1	1.6	2.0	0.5	2.0	2.5	2.5	0.0	0.8	0.3	3.1	1.3
⑤専門店	0.6	0.6	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.7	0.0	0.4
⑥配送(又は移動販売)サービス	1.5	1.6	1.8	1.4	2.1	1.7	1.7	3.3	1.0	0.7	1.5	1.5

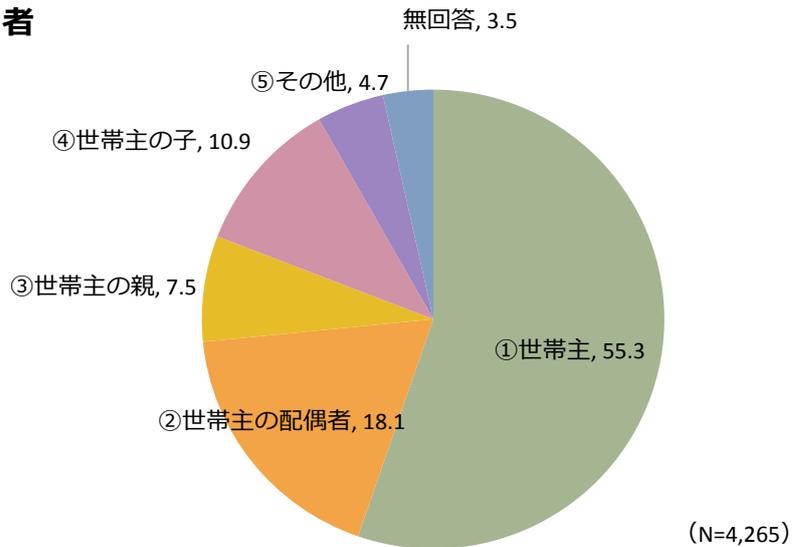
「近いから」及び「そこに行けば買い物が完結するから」が25.0%と最も多く、次いで「品揃えが豊富だから」16.9%の順となった。

居住地別でみると、問4-1-6) 日常の買い物先の設問で「近所のスーパー」の利用が多かった鳥取市、倉吉市は「近いから」の回答が多く、「大規模店」の利用が多かった米子市（中心・中活）は「そこに行けば買い物が完結するから」の割合が多くなっている。

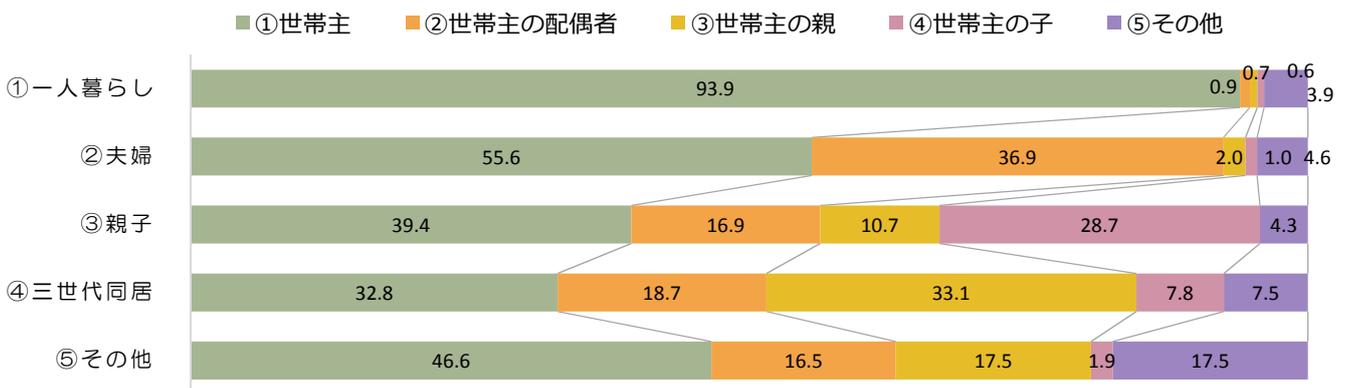
（2）通院状況について

4-2-1) 医療機関の主な利用者

医療機関の主な利用者（%）



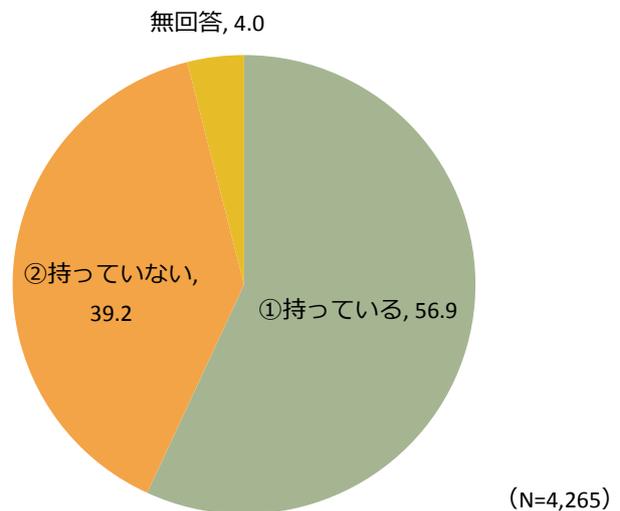
（参考）家族構成別 医療機関の主な利用者（%）全体（n=4,079）



「世帯主」が55.3%と最も多く、次いで、「世帯主の配偶者」が18.1%となった。家族構成別にみると、親子の世帯では「世帯主の子」の割合が多くなっており、三世帯同居では「世帯主の親」の割合が多くなっている。

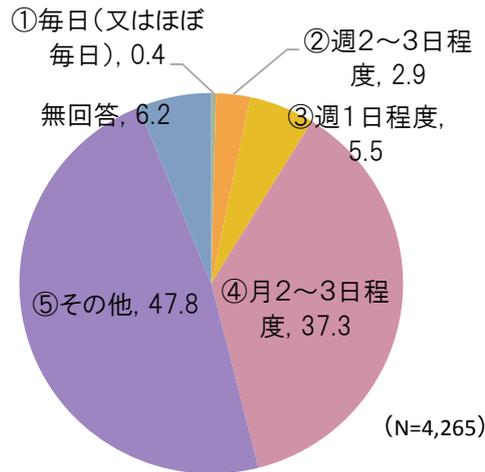
4-2-2) その方の自動車運転免許の有無

自動車運転免許の有無（%）

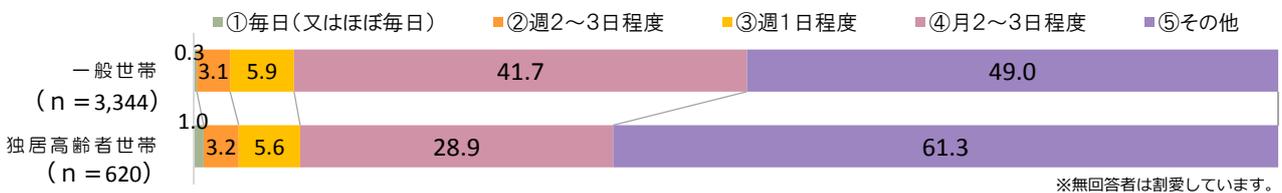


4-2-3) 通院の頻度

通院の頻度 (%)



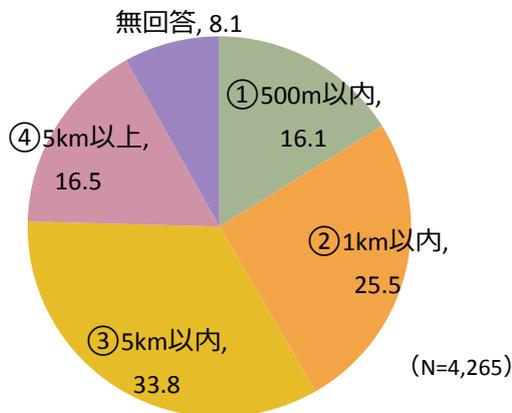
(参考) 世帯類型別 通院の頻度 (%) 全体 (n = 3,964)



「その他」が47.8%と最も多く、次いで、「月2~3日程度」が37.3%、「週1日程度」5.5%の順となった。世帯類型別にみると、独居高齢者世帯の方が「毎日(又はほぼ毎日)」及び「週2~3日程度」の割合が多いが、①~③の合計では、一般世帯の方が多くなっている。
(その他の主な記述：月1回、2ヶ月に1回が多数)

→家から通院先までの距離

通院先までの距離 (%)



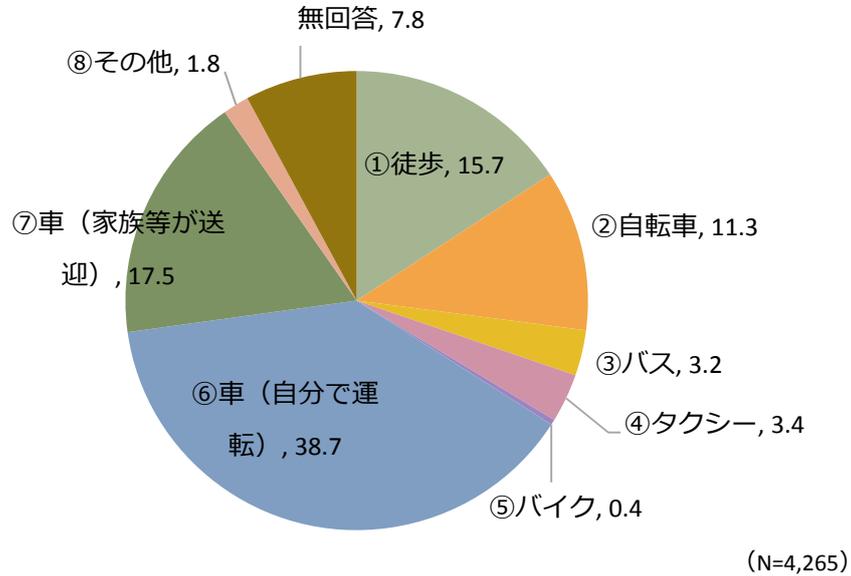
通院先までの距離/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①500m以内	13.2	17.3	20.6	8.1	20.0	23.9	23.9	7.0	17.2	20.2	21.5	16.1
②1km以内	21.7	30.4	30.9	10.8	29.4	31.3	31.3	22.6	30.3	32.3	15.4	25.5
③5km以内	38.0	36.6	32.3	39.8	29.5	28.4	28.4	32.9	32.0	21.9	33.8	33.8
④5km以上	19.4	7.2	7.3	34.7	13.0	7.7	7.7	30.9	10.8	18.9	18.5	16.5
無回答	7.7	8.5	8.9	6.6	8.2	8.7	8.7	6.6	9.7	6.7	10.8	8.1
合計	51.6	28.7	16.6	23.0	25.2	19.5	19.5	5.7	14.7	7.0	1.5	100.0

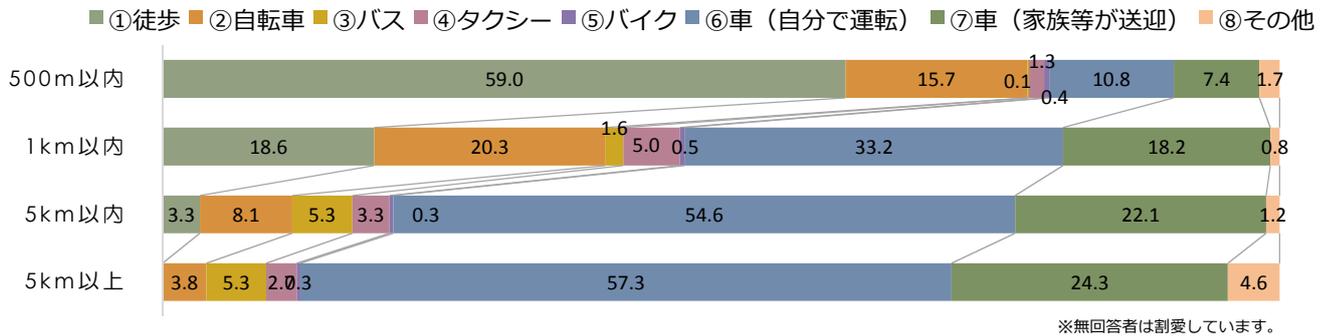
「5 km以内」が33.8%と最も多く、次いで「1 km以内」が25.5%、「5 km以上」が16.5%の順となった。約4割が「1 km以内」で通院をしており、約8割近くが「5 km以内」で通院している。

→通院に使う主な交通手段

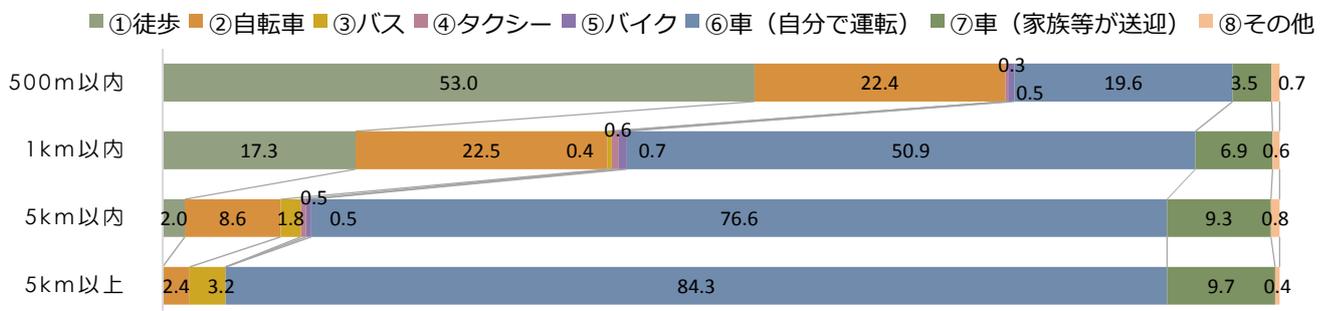
通院に使う主な交通手段（％）



（参考）通院先までの距離別 通院に使う主な交通手段（％）全体（n = 3,836）



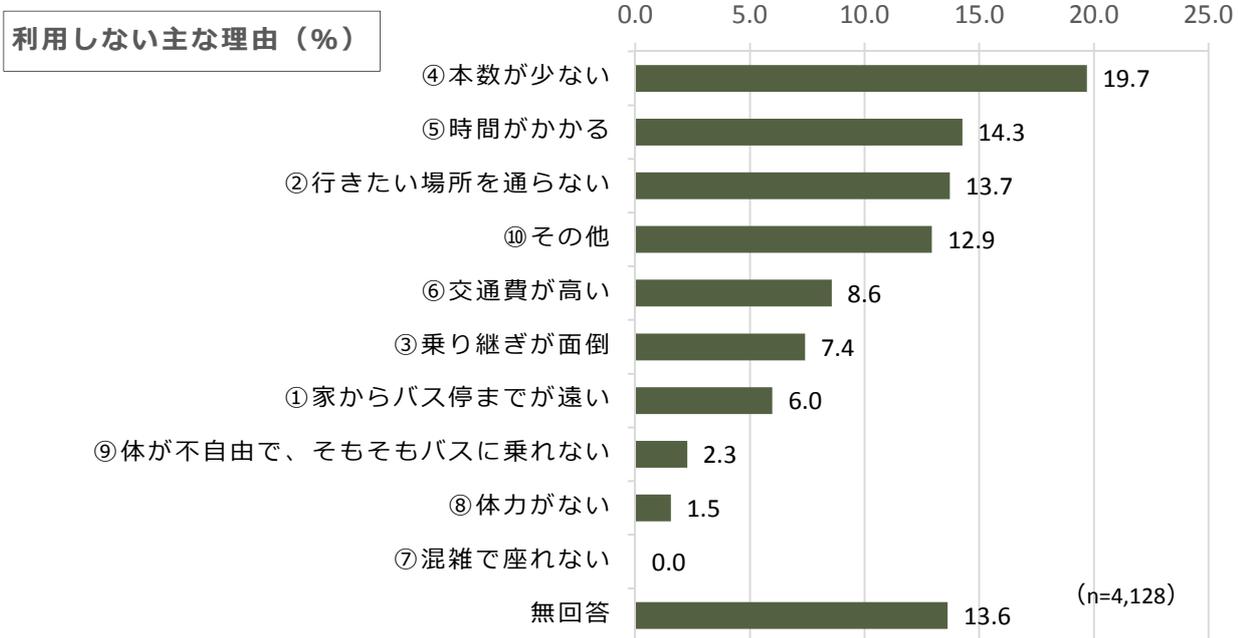
（参考：再掲）買い物先までの距離別 買い物に使う主な交通手段（％）全体（n = 3,995）



「車（自分で運転）」が38.7%と最も多く、次いで「車（家族等が送迎）」が17.5%と、56.2%の回答者が車で通院している。
 買い物先までの交通手段と比較すると、通院では「車（家族等が送迎）」が2倍近く多くなっている。

(3) バスについて

4-3-1) バスを利用しない主な理由（3つまで）（バス以外の交通手段を利用の場合）



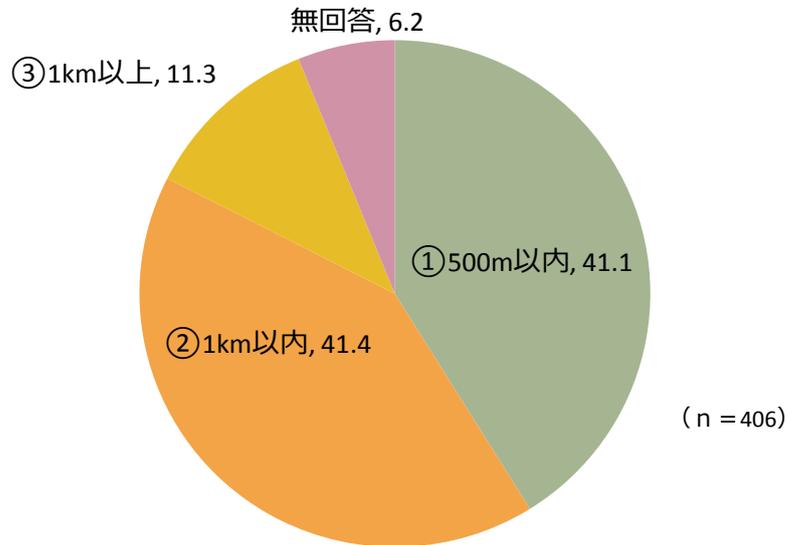
利用しない主な理由／居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①家からバス停までが遠い	4.3	5.7	3.4	3.0	8.2	9.4	9.4	4.3	8.4	6.0	5.5	6.0
②行きたい場所を通らない	13.0	16.1	15.9	10.0	17.7	19.3	19.3	12.5	10.2	12.7	7.7	13.7
③乗り継ぎが面倒	8.6	7.6	7.0	9.7	6.9	5.3	5.3	12.0	4.3	5.6	8.8	7.4
④本数が少ない	21.5	15.3	15.1	27.6	17.0	16.6	16.6	18.3	17.9	17.6	25.3	19.7
⑤時間がかかる	15.1	14.3	14.1	16.0	12.0	11.5	11.5	13.5	13.1	18.5	11.0	14.3
⑥交通費が高い	11.2	6.3	6.2	16.1	5.7	4.1	4.1	10.5	6.7	2.2	6.6	8.6
⑦混雑で座れない	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧体力がない	1.2	1.6	1.7	0.9	1.4	1.4	1.4	1.5	3.1	1.3	1.1	1.5
⑨体が不自由で、そもそもバスに乗れない	1.7	2.2	2.8	1.2	2.5	3.0	3.0	1.0	3.5	3.6	1.1	2.3
⑩その他	12.1	17.3	18.4	6.8	13.3	13.7	13.7	11.8	14.7	15.8	8.8	12.9
無回答	11.1	13.5	15.3	8.7	15.3	15.5	15.5	14.5	18.0	16.7	24.2	13.6
合計	53.5	26.7	15.2	26.9	24.7	18.9	18.9	5.9	13.8	6.6	1.3	100.0

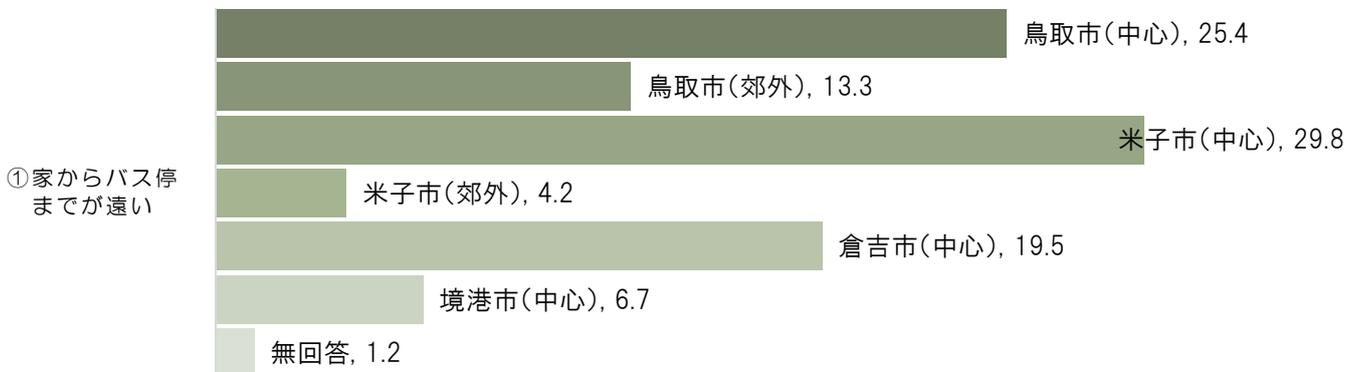
「本数が少ない」が19.7%と最も多く、次いで「時間がかかる」が14.3%、「行きたい場所を通らない」が13.7%順となった。
 （その他の主な記述：車がある、運転できる、自転車のほうが便利、徒歩で行ける、近い等）
 居住エリア別でみると、米子市において「家からバス停までが遠い」「行きたい場所を通らない」の割合が他エリアに比べて多い。

→最寄りのバス停までの距離（バスを利用しない主な理由が「①家からバス停までが遠い」の場合）

最寄りのバス停までの距離（%）



（参考）回答者「①家からバス停までが遠い」の居住地別構成比（%）全体（n = 401）

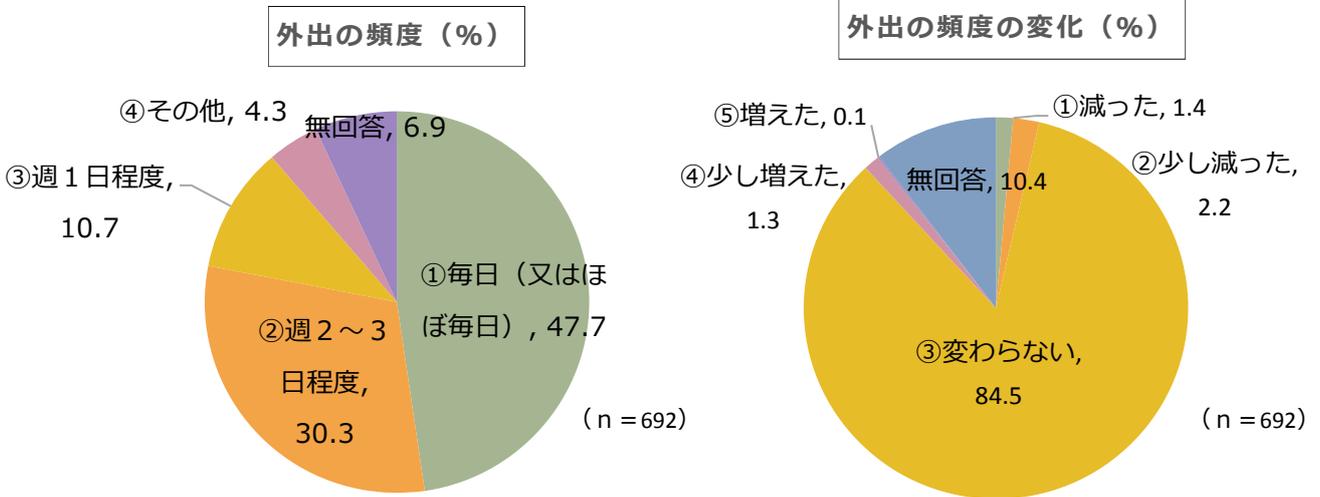


「1 km以内」が41.4%と最も多く、次いで「500m以内」が41.1%、「1 km以上」が11.3%の順となった。「500m以内」と答えた回答者が約4割いることから、バス停はより近くにあることを望んでいる人が多いことがうかがえる。
 「家からバス停までが遠い」と答えた回答者の居住地をみると、米子市の中心地区が29.8%と最も多く、次いで鳥取市の中心地区が25.4%、倉吉市の中心地区が19.5%の順となっている。

（４）外出について（65歳以上の独居世帯のみ）【H29新規】

4-4-1) 外出の頻度

4-4-2) 鳥取県中部地震以降の
外出の頻度の変化



外出の頻度は「毎日（又はほぼ毎日）」が47.7%と最も多く、外出の頻度の変化は、「変わらない」が84.5%と最も多くなった。

外出頻度及び外出の頻度の変化／居住エリア (%)

(外出の頻度)	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①毎日（又はほぼ毎日）	49.3	51.4	52.4	42.6	46.7	47.0	47.0	45.8	45.5	50.0	37.5	47.7
②週2～3日程度	31.8	32.5	31.5	29.4	30.2	28.7	28.7	35.4	33.6	17.2	25.0	30.3
③週1日程度	9.3	7.5	6.5	14.7	9.4	8.5	8.5	12.5	10.4	19.0	37.5	10.7
④その他	4.6	3.3	4.8	8.8	2.8	3.7	3.7	0.0	5.2	6.9	0.0	4.3
無回答	5.0	5.2	4.8	4.4	10.8	12.2	12.2	6.3	5.2	6.9	0.0	6.9
合計	40.5	30.6	17.9	9.8	30.6	23.7	23.7	6.9	19.4	8.4	1.2	100.0

(外出の頻度の変化)	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①減った	1.4	1.4	2.4	1.5	1.9	1.2	1.2	4.2	1.5	0.0	0.0	1.4
②少し減った	1.8	2.4	0.0	0.0	0.5	0.6	0.6	0.0	5.2	3.4	0.0	2.2
③変わらない	85.7	84.0	83.9	91.2	81.6	81.7	81.7	81.3	84.3	89.7	87.5	84.5
④少し増えた	0.4	0.0	0.0	1.5	1.4	0.6	0.6	4.2	3.7	0.0	0.0	1.3
⑤増えた	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
無回答	10.4	11.8	13.7	5.9	14.6	15.9	15.9	10.4	5.2	6.9	12.5	10.4
合計	40.5	30.6	17.9	9.8	30.6	23.7	23.7	6.9	19.4	8.4	1.2	100.0

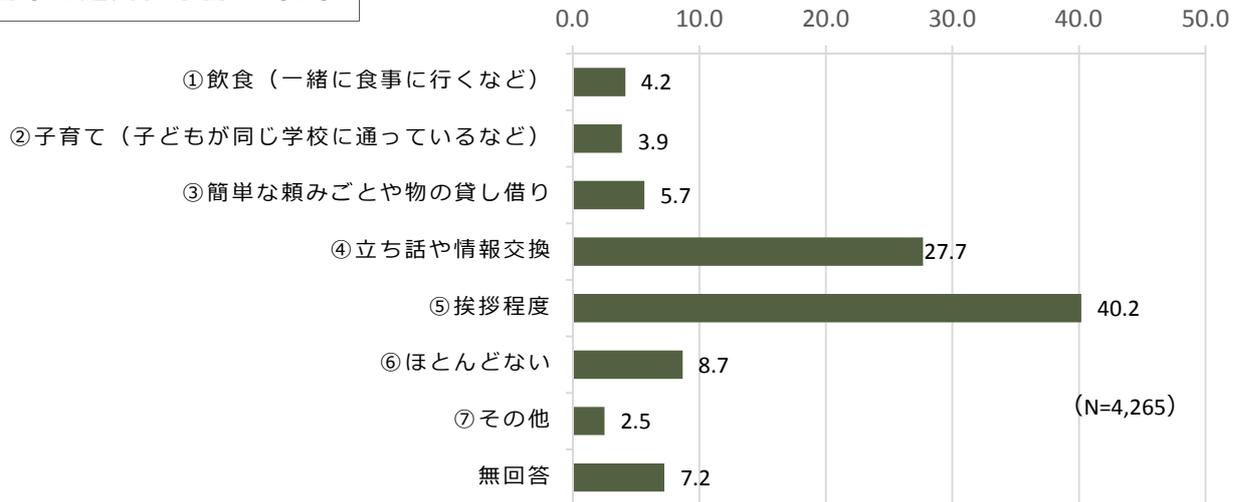
居住エリア別で外出の頻度をみると、境港市が最も頻度が多く、郊外は中心地区に比べ外出の頻度が少ない傾向にあるが大差はない。
また、外出の頻度の変化は、各地域において大差はない。

5、コミュニティ（地域社会）

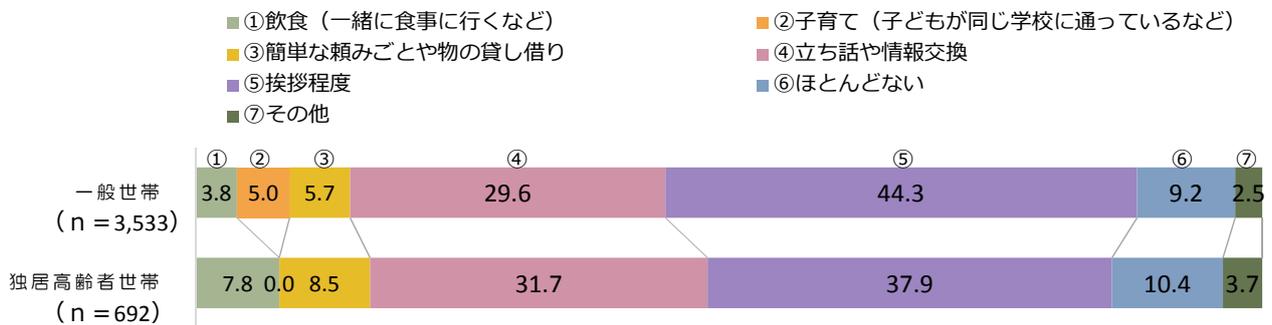
（1）近所付き合いの状況／マンション等の中でのお付き合いの状況

5-1-1） 日常の近所付き合い（マンション等の中でのお付き合い）（いくつでも）

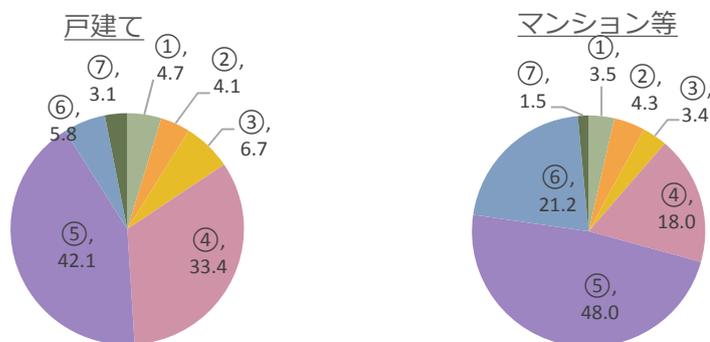
日常の近所付き合い（％）



（参考）世帯類型別 日常のご近所付き合い（％）全体（N=4,225）



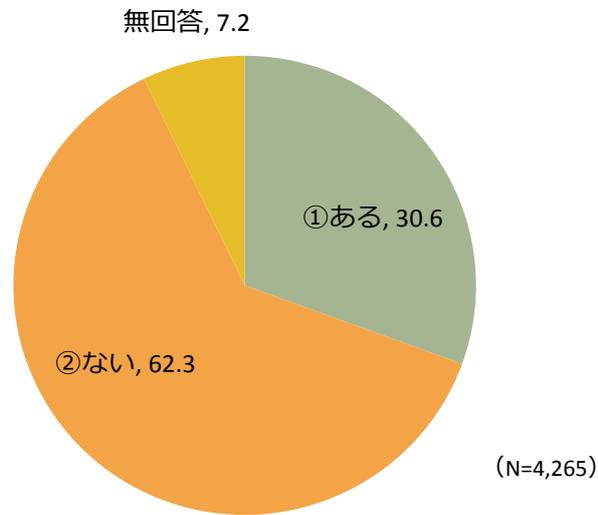
（参考）住まいの形態別 日常のご近所付き合い



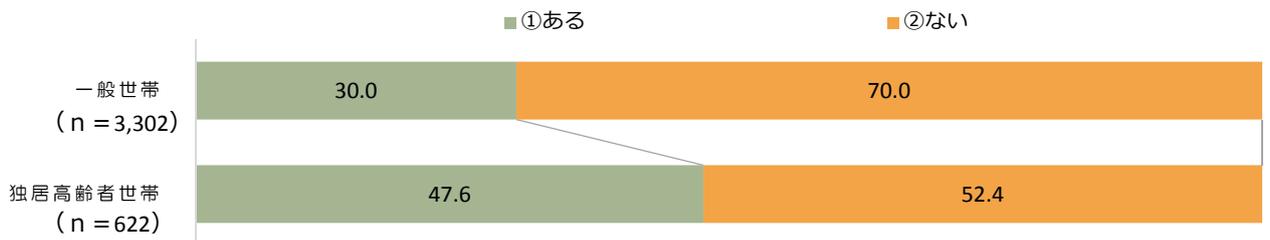
「挨拶程度」が40.2%と最も多く、次いで「立ち話や情報交換」が27.7%、「ほとんどない」が8.7%の順となった。
 世帯類型別にみると、独居高齢者世帯のほうが一般世帯よりご近所の交流があるが、独居高齢者世帯の「ほとんどない」の割合は一般世帯よりわずかに多い。
 住まいの形態別でみると、戸建てのほうが、マンション等よりご近所の交流がある。「ほとんどない」はマンション等世帯の方が割合が大きい。

5-1-2) 日常的な憩いの場の有無

憩いの場の有無 (%)



(参考) 世帯類型別 憩いの場の有無 (%) 全体 (N=3,924)



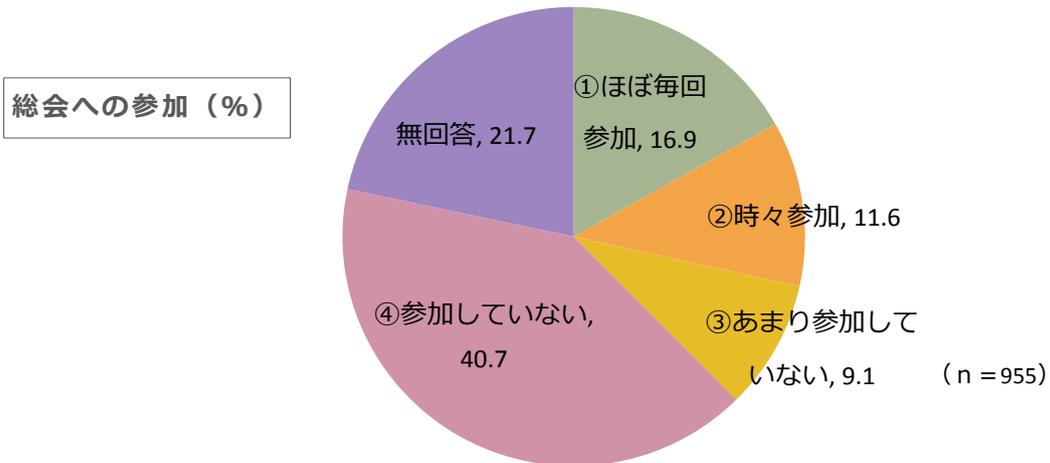
※無回答者は割愛しています。

憩いの場の有無/居住エリア (人)

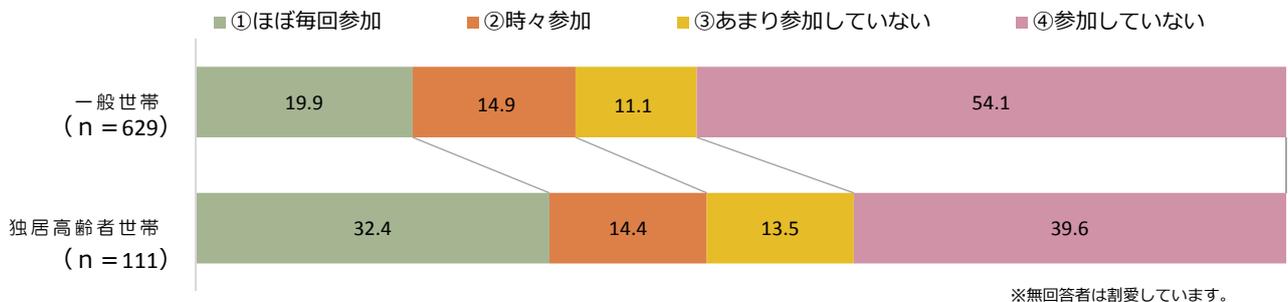
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心					
①ある	609	316	185	293	314	232	232	82	252	105	23	1,303	30.6
②ない	1,447	813	476	634	672	529	529	143	330	175	32	2,656	62.3
無回答	146	93	48	53	87	69	69	18	46	17	10	306	7.2
合計	2,202	1,222	709	980	1,073	830	830	243	628	297	65	4,265	100.0

日常的な憩いの場は約6割が「ない」と回答した。
 世帯類型別にみると、独居高齢者世帯は一般世帯に比べ「ある」と回答した割合が高い。
 具体的な憩いの場所は、自宅（友人、ご近所など）、公民館、公園、趣味などの集まり、など。

5-1-3) マンション等総会への参加（マンション等世帯のみ）

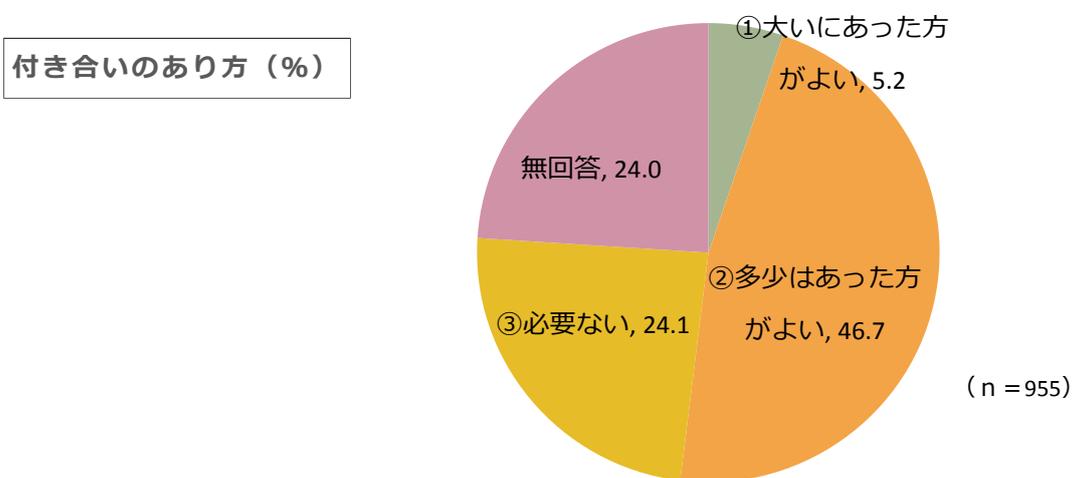


(参考) 世帯類型別 総会への参加 (%) 全体 (n = 740)



「参加していない」が40.7%と最も多く、次いで、「ほぼ毎回参加」16.9%、「時々参加」が11.6%となった。
 総会に参加している世帯が約4割、参加していない世帯が約4割となった。
 世帯類型別にみると、独居高齢者世帯は一般世帯に比べ、参加している割合が高い。

5-1-4) マンション内での付き合いのあり方（マンション等世帯のみ）

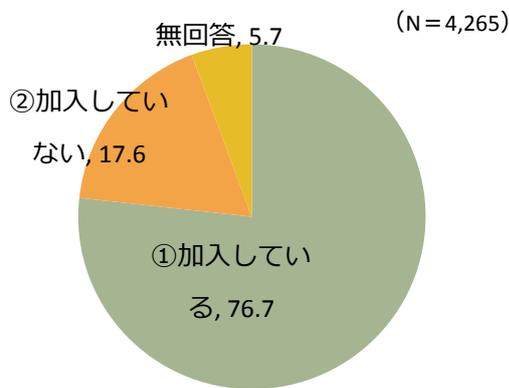


「多少はあった方がよい」が46.7%と最も多く、次いで「必要ない」が24.1%となり、「大いにあった方がよい」は5.2%と低水準となった。

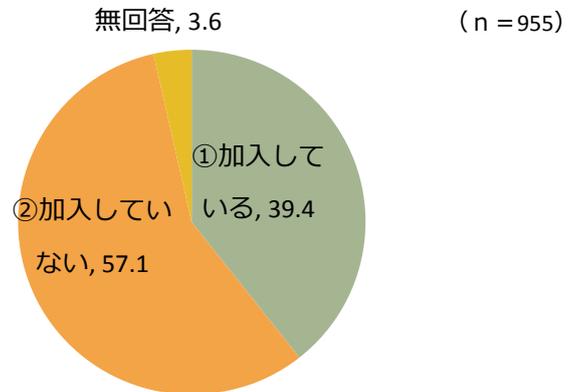
（2）「地域型コミュニティ」（地域の自治会（町内会）単位を基本としたコミュニティ）への参加

5-2-1) 地域の自治会（町内会）の加入状況

自治会の加入状況 ※全世帯（%）



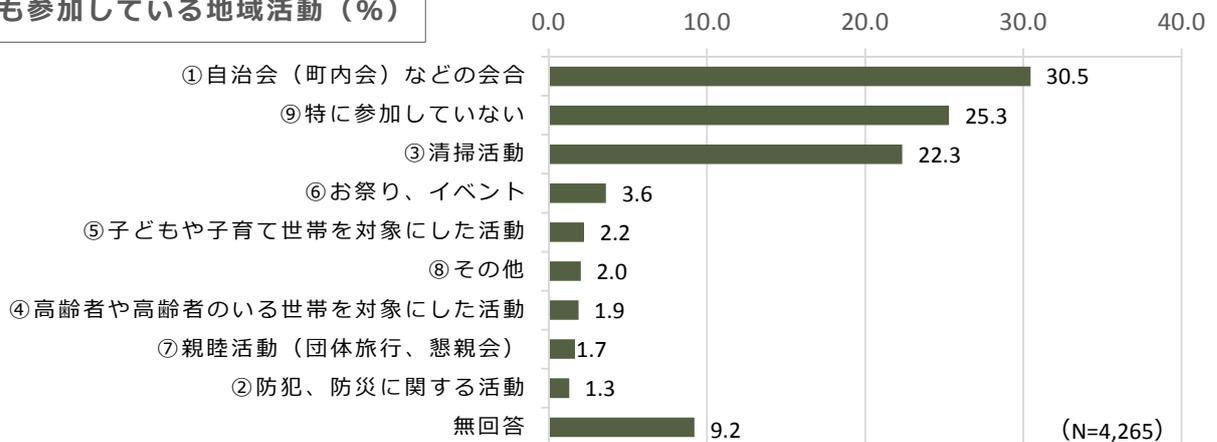
自治会の加入状況 ※マンション等世帯（%）



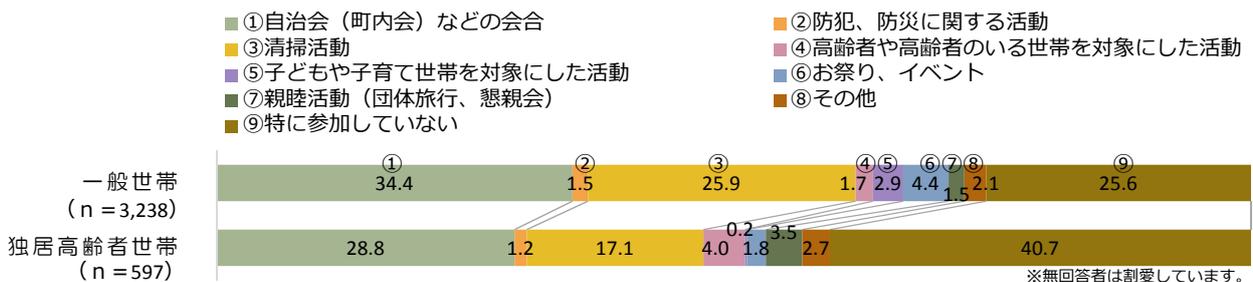
「加入している」と76.7%が回答したが、マンション等世帯の加入は約4割に留まっている。

5-2-2) 最も参加されている地域活動

最も参加している地域活動（%）



（参考）世帯類型別 最も参加している地域活動（%）全体（n=3,835）

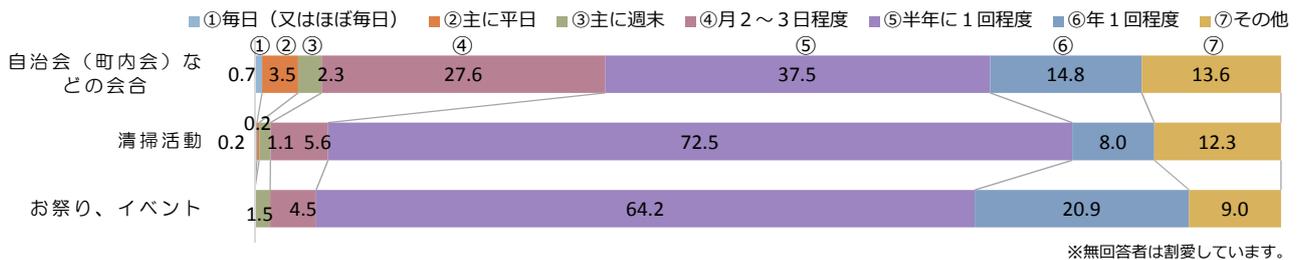


「自治会（町内会）などの会合」が30.5%と最も多く、次いで「特に参加していない」が25.3%、「清掃活動」が22.3%の順となった。世帯類型別にみると、独居高齢者世帯は「特に参加していない」が約4割と一般世帯に比べ多い。

→地域活動の活動頻度（最も参加している地域活動が「⑨特に参加していない」以外の方）

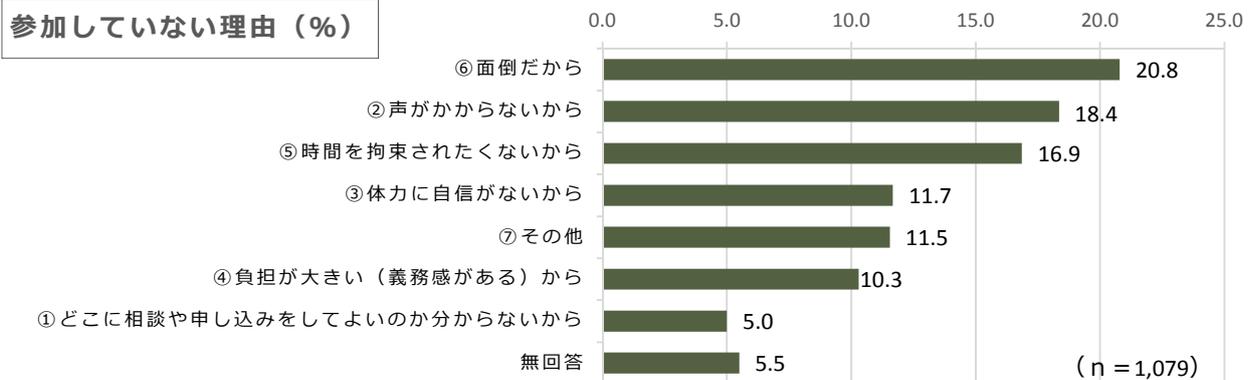


（参考）参加している地域活動別 活動頻度 (%) 全体

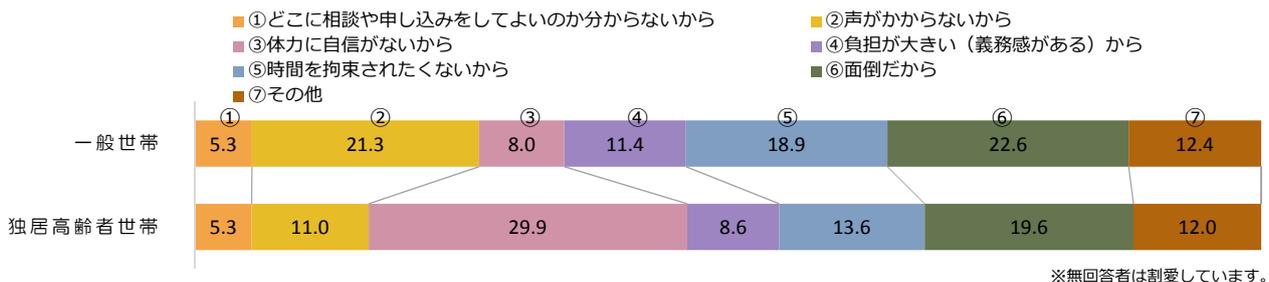


「半年に1回程度」が50.3%と最も多く、次いで「月2～3日程度」が18.9%となった。最も参加している地域活動の上位3位であった、「自治会（町内会）の会合」「清掃活動」「お祭り、イベント」の活動頻度をみると、「半年に1回程度」が最も多くなっている。

→ 最も参加している地域活動が「⑨特に参加していない」の場合の理由（3つまで）



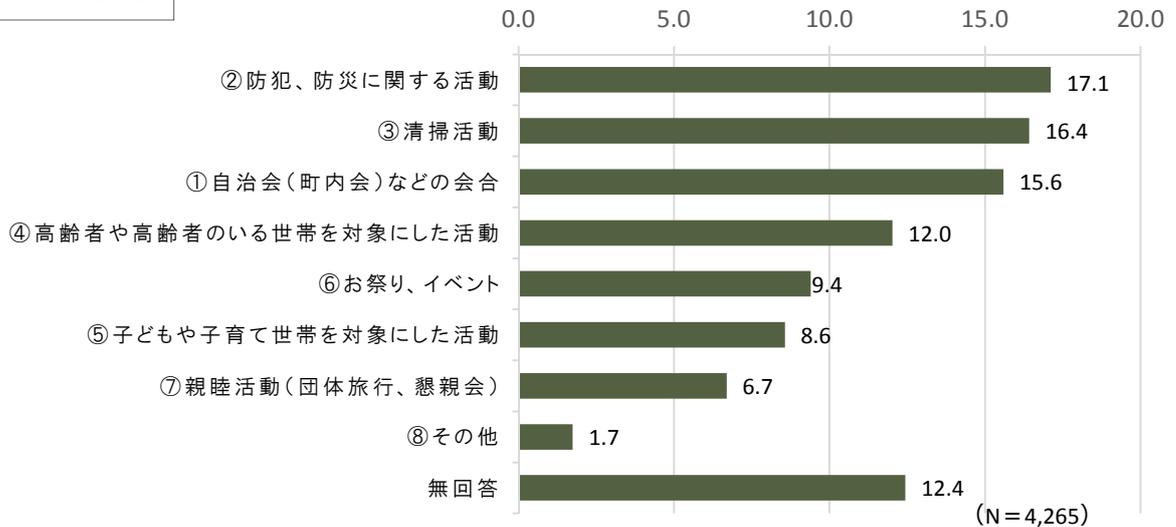
（参考）世帯類型別 参加していない理由 (%) 全体 (n = 1,079)



「面倒だから」が20.8%と最も多く、次いで「声がかからないから」が18.4%、「時間を拘束されたくないから」が16.9%の順となった。世帯類型別にみると、一般世帯では「声がかからないから」、「時間を拘束されたくないから」が多く、独居高齢者世帯では「体力に自信がないから」が多くなっている。

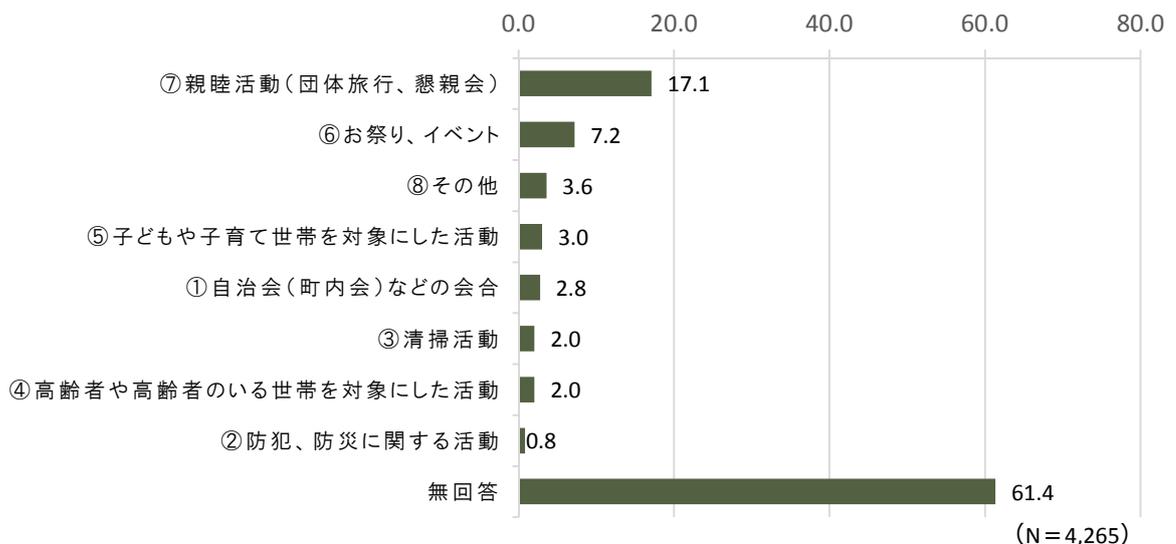
5-2-3) 自治会（町内会）で必要だと思う活動、不必要だと思う活動（いくつでも）
【H29新規】

必要な活動（%）



「防犯、防災に関する活動」が17.1%と最も多く、次いで「清掃活動」16.4%、「自治会（町内会）などの会合」が15.6%となっている。
その他の意見は、「除雪」、「高齢化関連（要介護者の把握）」、「安心・安全の基盤」、「子供とお年寄りの交流」、「地域行事」、「公民館活動」などであった。

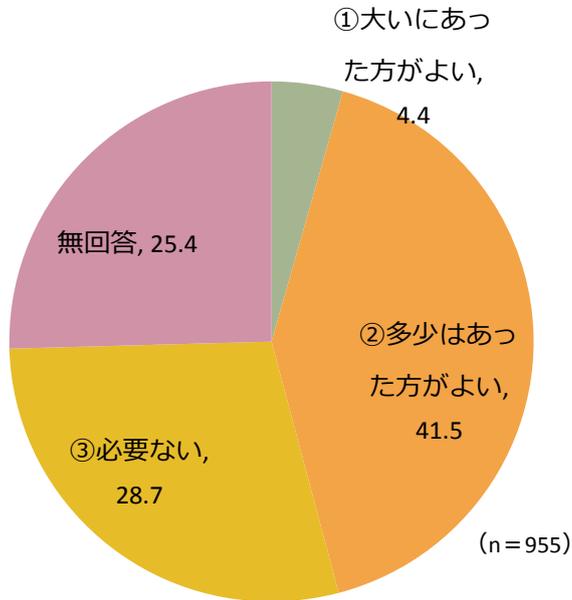
不必要な活動（%）



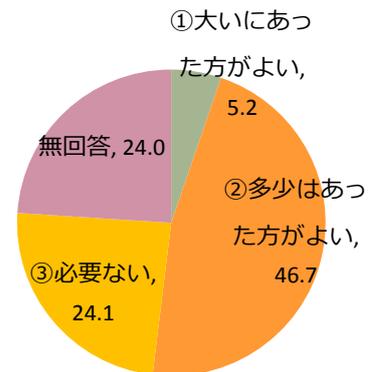
「親睦活動（団体旅行、親睦会）」が17.1%と最も多く、次いで「お祭り、イベント」が7.2%、「その他」が3.6%となっている。
その他の意見は、「不必要と思うものはないが無理にする必要もない」、「限られた条件だけの活動は好ましいと思わない」、「過剰な会合」、「参加が負担である」、「地区の運動会」などであった。

5-2-4) マンション外の近隣住民との付き合いのあり方（マンション等世帯のみ）

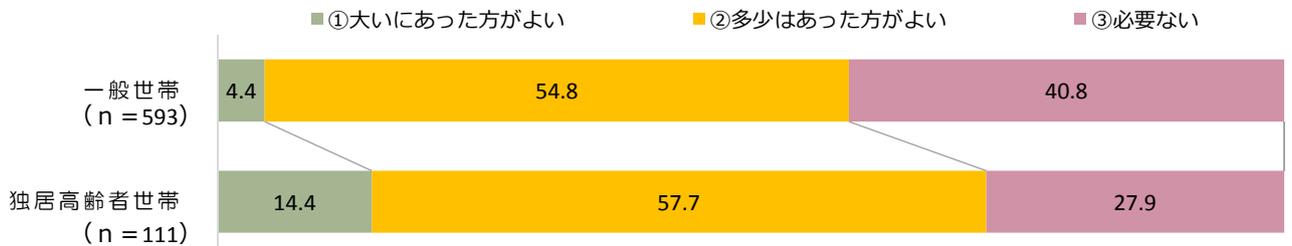
マンション外での付き合いのあり方（%）



(再掲) マンション内での付き合いのあり方（%）



(参考) 世帯類型別 マンション外での付き合いのあり方（%）全体（n=704）



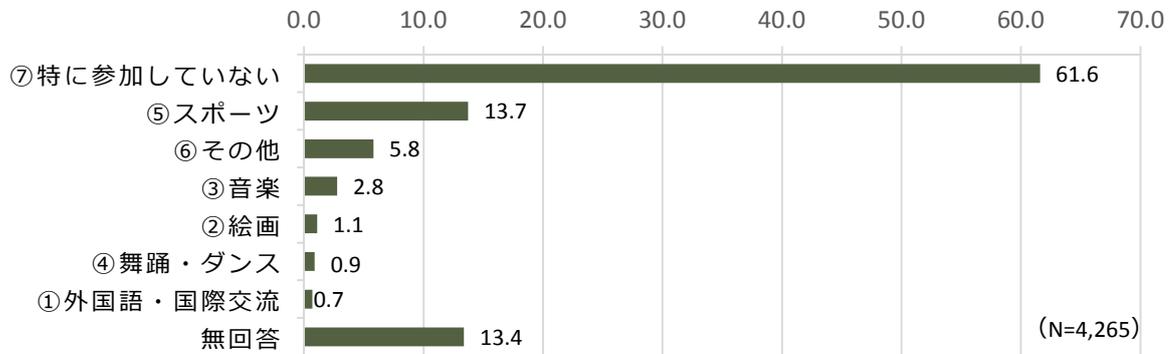
※無回答者は割愛しています。

「多少はあったほうがよい」が41.5%と最も多く、次いで「必要ない」が28.7%となった。「大いにあった方がよい」は4.4%となり、低水準となった。
 問5-1-4) マンション内での付き合いのあり方と比較すると大差はなく、マンション等世帯の回答者はマンションの内外のどちらについても、付き合いのあり方は変わらないと考えていると見受けられる。
 世帯類型でみると、一般世帯では「必要ない」と思っている割合が多く、独居高齢者世帯では「大いにあった方がよい」が多くなっている。

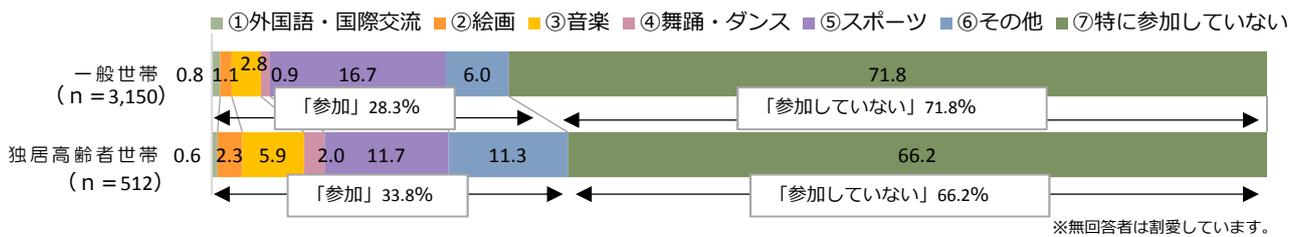
（3）「テーマ型コミュニティ」（文化系サークル、スポーツ系クラブなど、地域に縛られず共通の目的を持ったコミュニティ）への参加状況

5-3-1) 最も参加されている活動

最も参加されている「テーマ型コミュニティ」（%）



（参考）世帯類型別 最も参加しているテーマ型コミュニティ（%）全体（n=3,662）



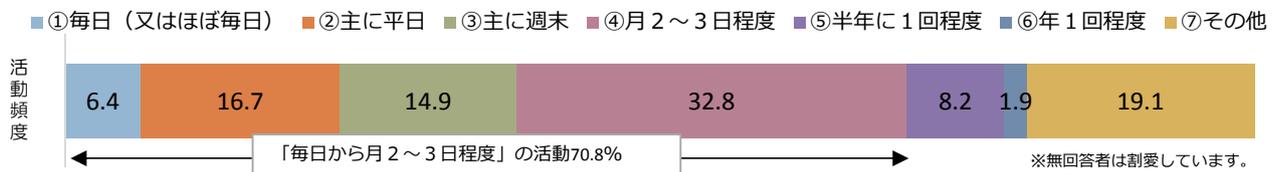
「特に参加していない」が61.6%と最も多く、次いで「スポーツ」が13.7%、「その他」が5.8%の順となった。

（その他の主な記述：囲碁、書道、手芸、ボランティア活動、料理教室など）
世帯類型でみると、独居高齢者世帯の方が一般世帯より参加している割合が多い。

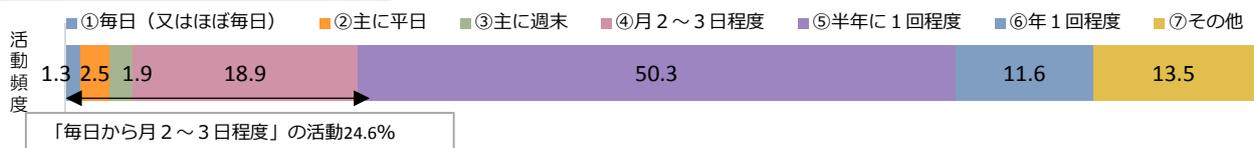
→ テーマ型コミュニティの活動頻度（最も参加している活動が「⑦特に参加していない」以外の方）

テーマ型コミュニティの活動頻度（%）

(n=1,316)



（再掲）地域活動の活動頻度（%）

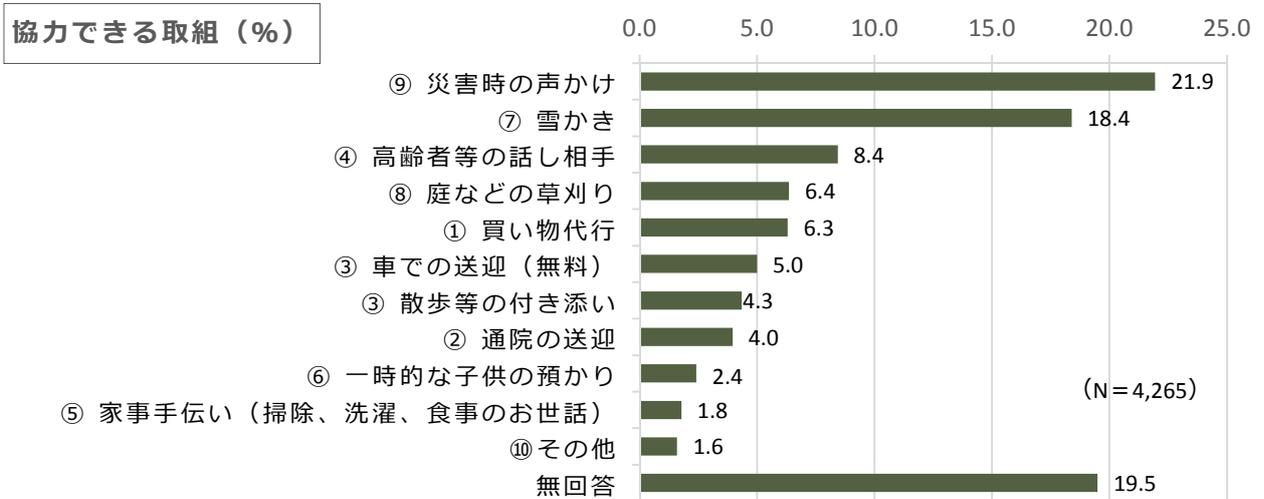


「月2～3日程度」が32.8%と最も多く、次いで「その他」19.1%、「主に平日」16.7%の順となった。

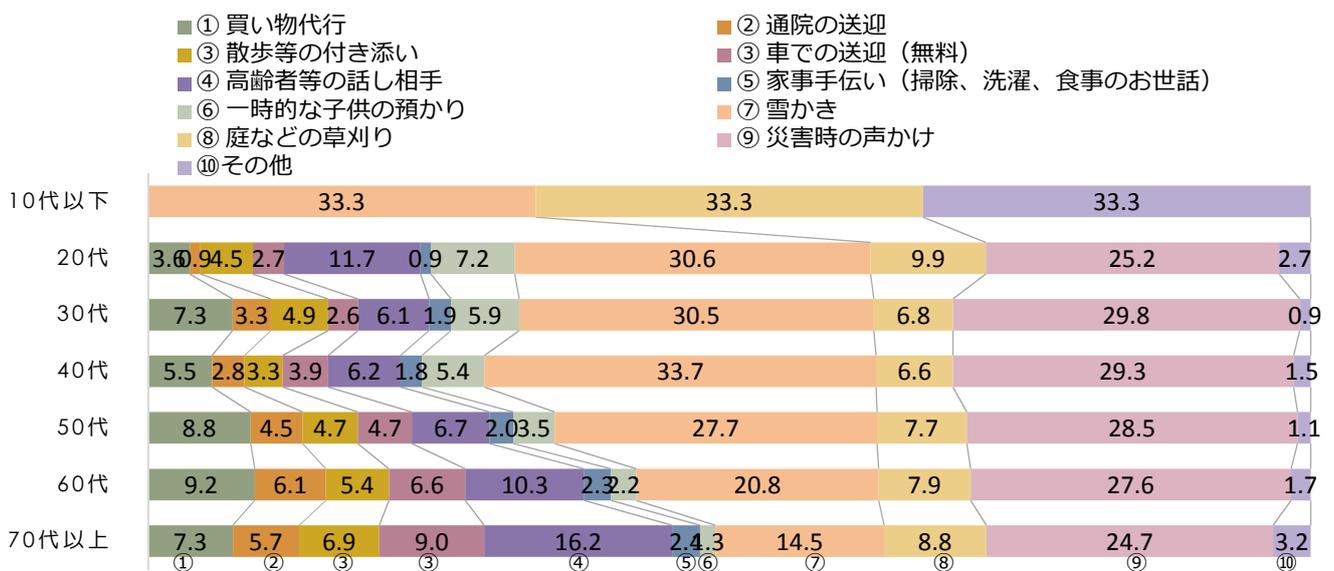
（その他の主な記述：月1回、週に一回、2か月に一回など）
問5-2-2) 地域活動の活動頻度と比較すると、テーマ型コミュニティの活動頻度の方が多い。

（４）その他

5-4-1) 地域の安全・安心な暮らしを守るために協力できると考える取組（できるもの全て）
【H29新規】



（参考）年代別 協力できる取組 (%) 全体 (n=4,211)



「災害時の声かけ」が21.9%と最も多く、次いで「雪かき」18.4%、「高齢者の話し相手」が8.4%の順となった。
 （その他の主な記述：協力出来ない、高齢の為できない、救急事態における関係箇所への連絡、災害時の誘導、小学生の見守りなど）
 年代別でみると、高年齢層では買い物代行、通院の送迎、車での送迎と回答した割合が多く、若年層では一時的な子供の預かり、雪かき、庭などの草刈りが多くなっている。

取り組みを行うにあたって、支障となっていること（自由記述）

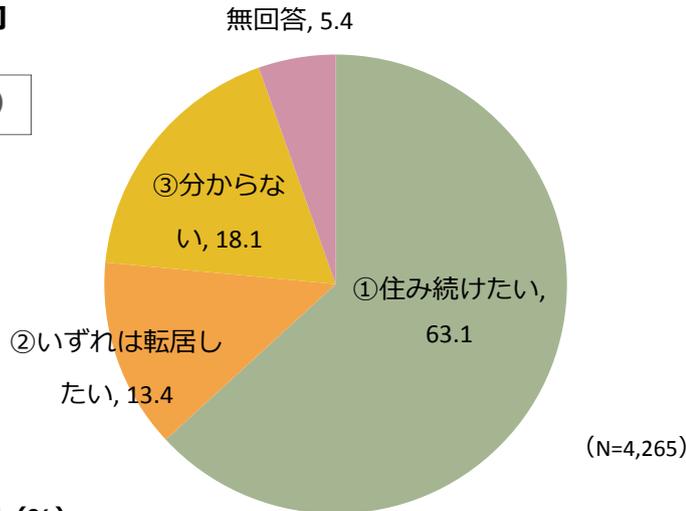
- 障害者の為協力出来ない。体調が良くない。体力がない。身体が不自由。 ●高齢のため自分のことしかできない。
- 学業に時間を使いたいため、時間を割くことができない。 ●平日は働いている。休日は家のこと、子供のことで忙しく対応がむずかしい。 ●仕事があり時間に余裕がない ●協力したいが、自分の事や家族の事がいっぱい出来ない。
- あいさつ程度で近所づきあいがあまりないこと。 ●日常から接点が無い。
- 正確な世帯地図、住人名簿、家族連絡先などが分からないこと。（一人暮らしの方の所在が確認出来ない。）
- 若い方が少ない。

年齢的、身体的な理由、仕事や、学業、子育て等で時間がないとの声が多く見受けられる。また、連絡先などの情報が分からないという声や、近所との接点がないことから、協力できることが限られるという声も多数あった。

6、居住に関する今後の意向

6-1) 今後の居住意向

今後の居住意向（%）



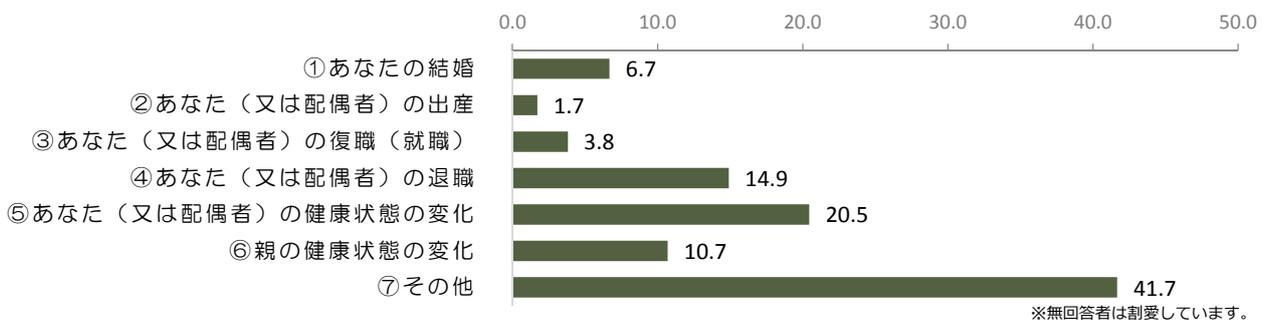
今後の居住意向／居住エリア（%）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①住み続けたい	61.6	62.0	62.8	61.0	59.0	60.7	60.7	53.1	71.5	74.4	52.3	63.1
②いずれは転居したい	15.2	16.6	15.7	13.5	14.9	15.5	15.5	12.8	7.0	6.7	16.9	13.4
③分からない	18.8	16.5	16.5	21.5	19.5	17.1	17.1	27.6	15.9	12.8	18.5	18.1
無回答	4.5	4.8	5.1	4.0	6.6	6.6	6.6	6.6	5.6	6.1	12.3	5.4
合計	51.6	28.7	16.6	23.0	25.2	19.5	19.5	5.7	14.7	7.0	1.5	100

「住み続けたい」が63.1%と最も多く、次いで、「いずれは転居したい」13.4%、「分からない」が18.1%の順となった。
居住エリア別でみると、境港市が「住み続けたい」の割合が最も多く、鳥取市の中心地区においては「いずれは転居したい」が他エリアに比べ最も多い。

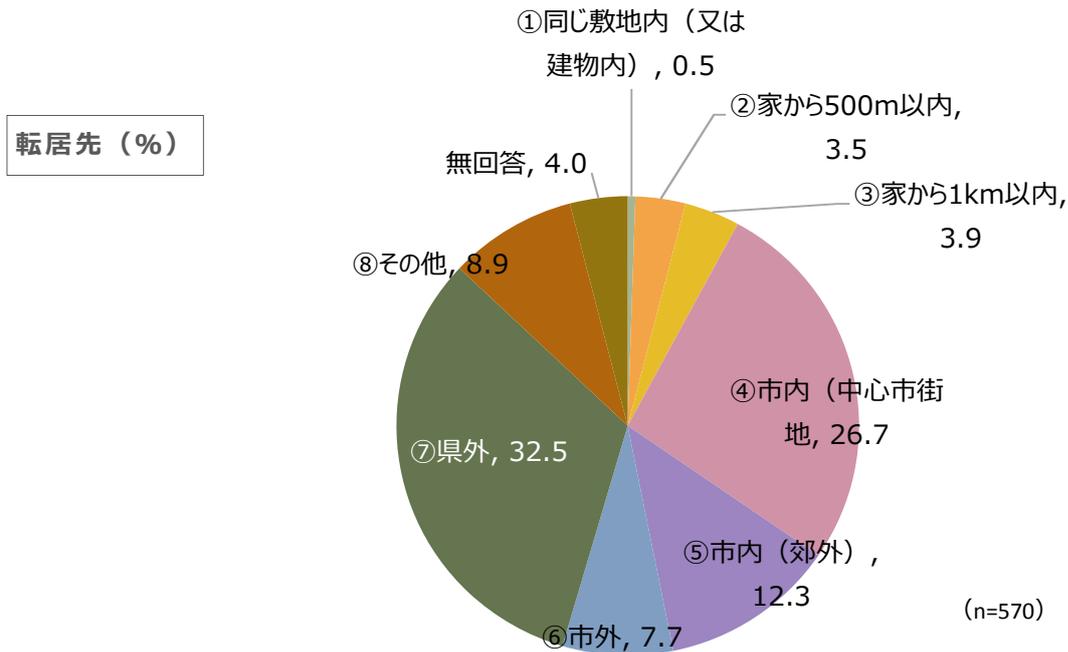
→ 転居のきっかけ（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）

（参考）転居のきっかけ（%）全体（n=523）

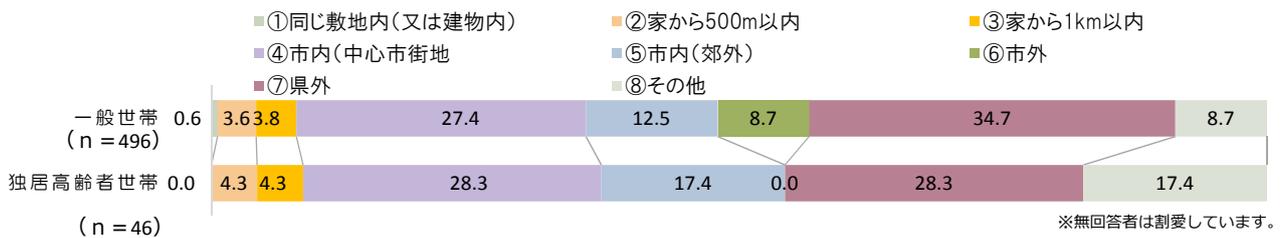


その他が41.7%と最も多く、次いで、本人又は配偶者の健康状態の変化が20.5%、本人または配偶者の退職14.9%の順となった。
（その他の主な記述：転勤、子どもの進学・就職、学校の卒業に伴って、家が古い、借家なのでなど）

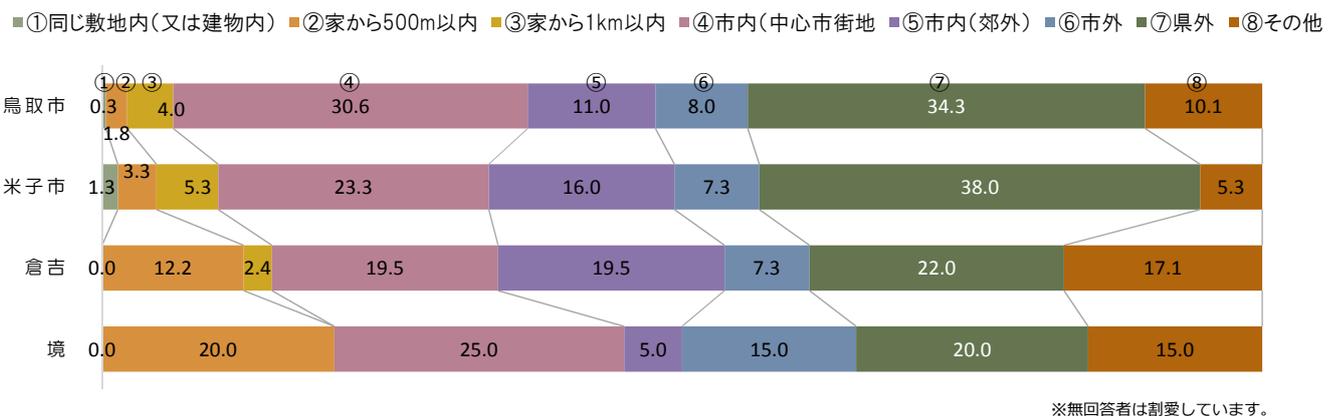
→ 転居先（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）



（参考）世帯類型別 転居先 (%) 全体 (n = 542)



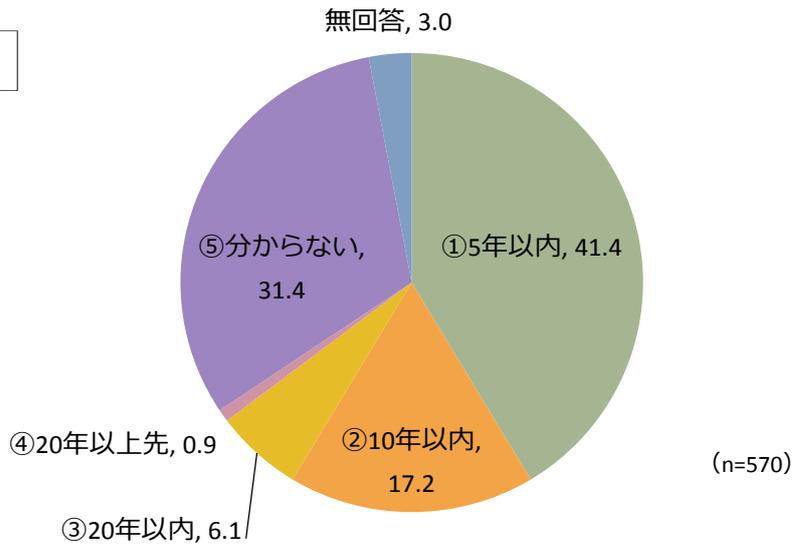
（参考）居住地域別 転居先 (%) 全体 (n = 538)



「県外」が32.5%と最も多く、次いで「市内（中心市街地）」26.7%、「市内（郊外）」12.3%の順となった。
 世帯類型別で転居先をみると、一般世帯は市外及び県外と回答したのは43.4%であったのに対し、独居高齢者世帯では28.3%となり、近距離圏での転居を希望していることがうかがえる。
 居住地域別で転居先をみると、倉吉市及び境港市は市内への転居意向が他エリアに比べ高く、県外への転居意向は低い。

→ 転居時期（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合）

転居時期（%）

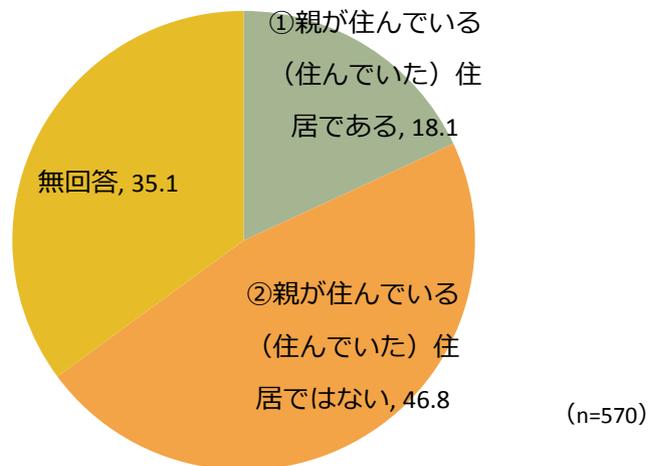


「5年以内」が41.4%と最も多く、次いで「分からない」が31.4%、「10年以内」が17.2%の順となった。

→ 転居先は、親が住んでいる（住んでいた）住居か

（今後の居住意向が「②いずれは転居したい」の場合で、今現在、親と別居の場合）

転居先の場所（%）



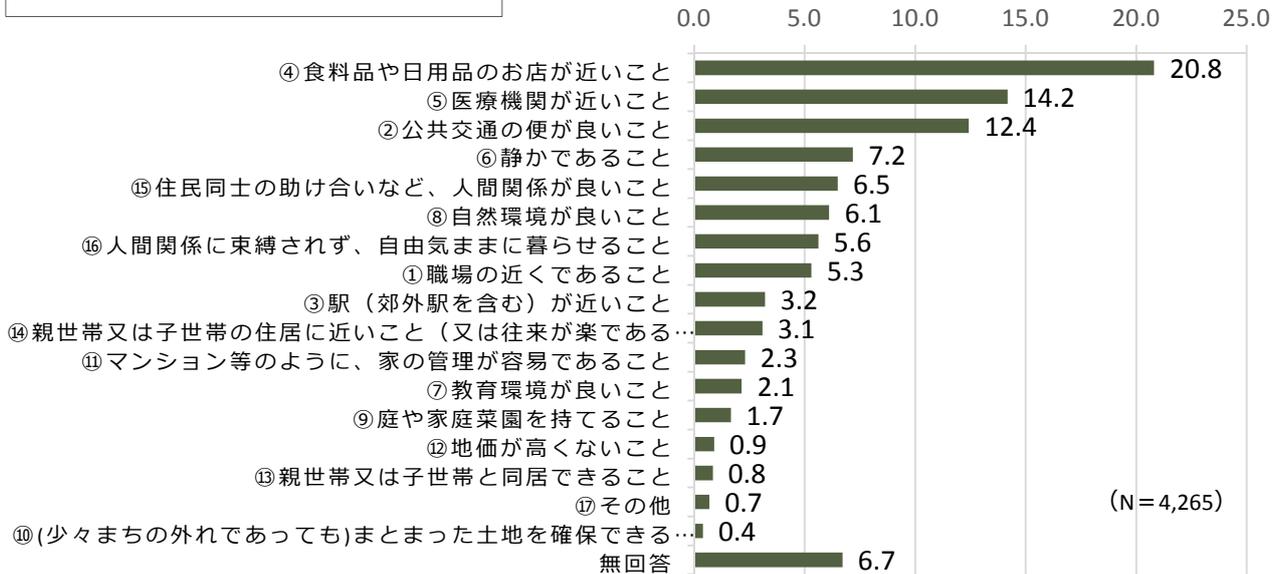
転居先の場所／居住エリア（%）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①親が住んでいる(住んでいた)住居である	16.1	16.7	20.7	15.2	21.3	22.5	22.5	16.1	20.5	25.0	9.1	18.1
②親が住んでいる(住んでいた)住居ではない	48.4	52.2	47.7	42.4	48.1	51.9	51.9	32.3	27.3	35.0	81.8	46.8
無回答	35.5	31.0	31.5	42.4	30.6	25.6	25.6	51.6	52.3	40.0	9.1	35.1
合計	58.8	35.6	19.5	23.2	28.1	22.6	22.6	5.4	7.7	3.5	1.9	100.0

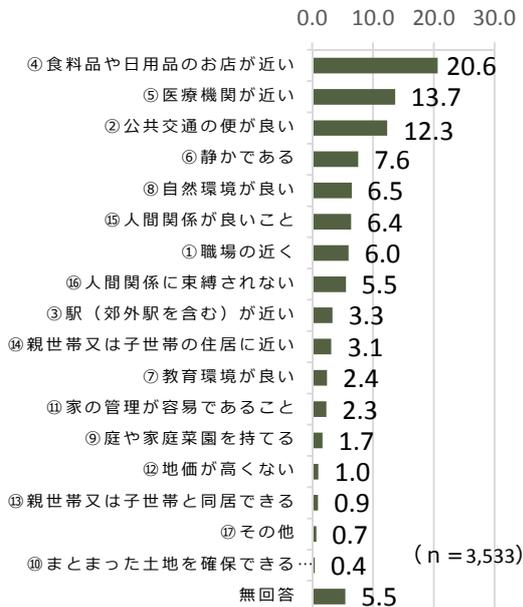
親が住んでいる（住んでいた）住居ではないが46.8%と最も多い。

6-2) 居住環境として優先する条件（3つまで）

居住環境として優先する条件（％）



居住環境として優先する条件
※一般世帯（％）



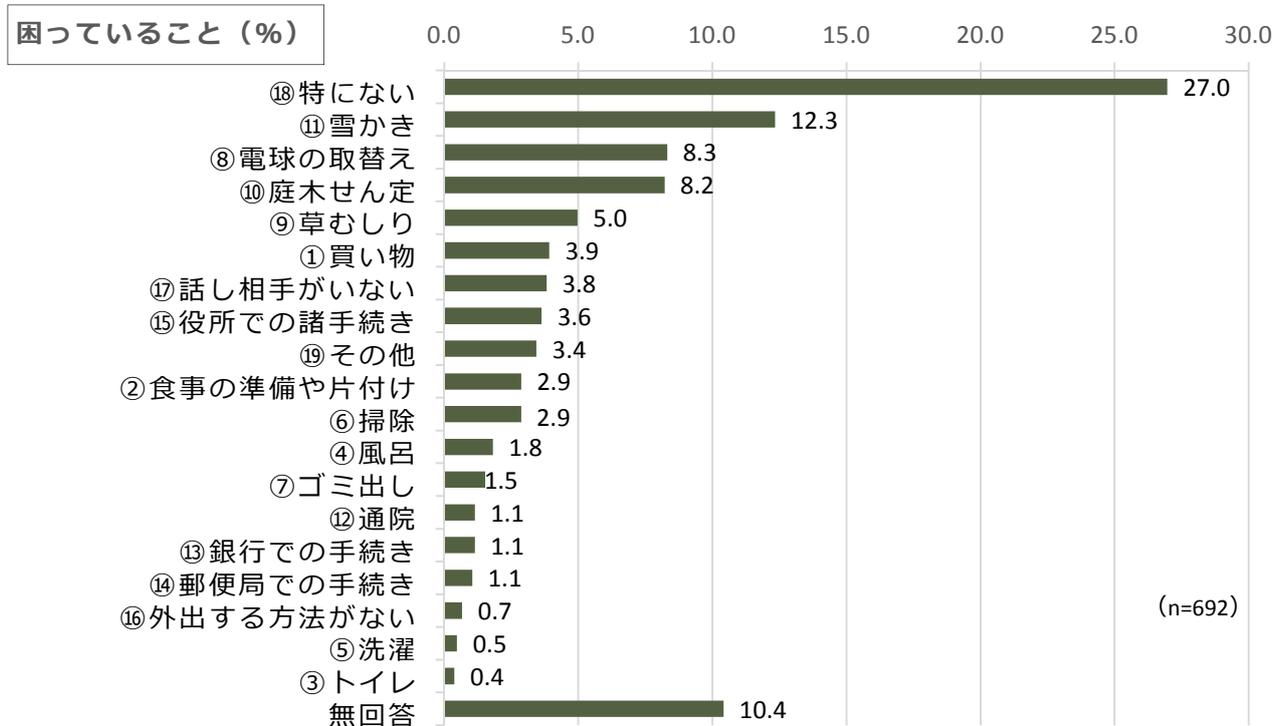
居住環境として優先する条件
※独居高齢者世帯（％）



「食料品や日用品のお店が近いこと」が20.8%と最も多く、次いで「医療機関が近いこと」14.2%、「公共交通の便が良いこと」が12.4%の順となった。
世帯類型別で優先条件をみると、一般世帯の3位以降は、静かである、自然環境が良い、人間関係が良いこと、職場の近くという居住環境を重視した項目が上位となっている。
一方、独居高齢者世帯の3位以降は、人間関係が良いこと、人間関係に束縛されない、静かであるとなっており、人間関係を重視した項目が上位となっている。

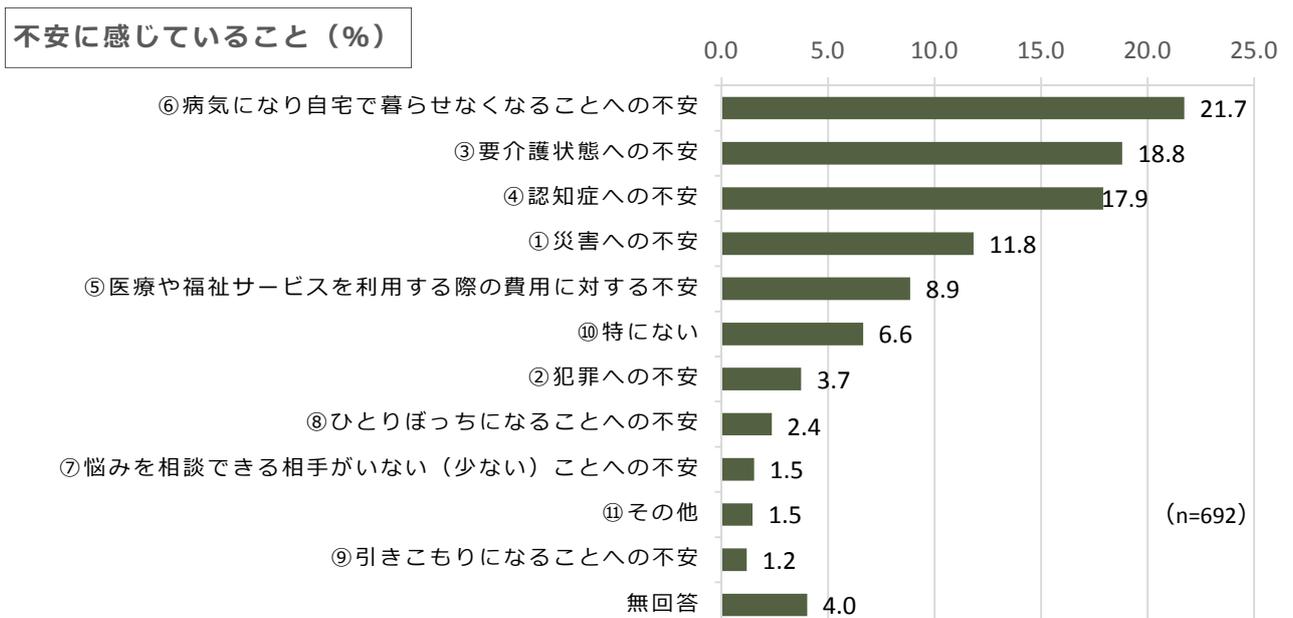
7、困りごと、不安

7-1) 現在、日常生活で困っていること（3つまで）※65歳以上の独居高齢者世帯のみ



「特にない」が27.0%と最も多く、次いで「雪かき」12.3%、「電球の取替え」8.3%の順となった。

7-2) 将来に向けて、日頃不安に感じていること（3つまで）※65歳以上の独居高齢者世帯のみ



「病気になり自宅で暮らせなくなることへの不安」が21.7%と最も多く、次いで「要介護状態への不安」が18.8%、「認知症への不安」が17.9%の順となり、約6割の回答者が将来的な健康への不安を抱いている。

7-3) 地域で不足しているサービス・取り組みで必要なもの ※65歳以上の独居高齢者世帯のみ

趣旨が同じ内容を整理統合し抜粋して掲載しています。

見守り	町内会に入っているけど、ほとんど誰も声をかけてくれる人がいない。月に1度位は独居なので変わったことが無い位の声かけが有ってもいいのではと思う。
	一人暮らしで、何かあった時(急病等)外部への伝達方法があれば良いと何時も思うのだが。
	民生委員さんの声掛けがない。特に大雪が降った時等、大変でしょうが声掛け、手伝い等していただきたいと思います。
	お互い困った事を気軽に相談出来る地域の人、自分の出来る事を登録しておいて、ボタン付けとか電球の取り換えなど小さな事でもこれはあの人に助けてもらおうと気軽に頼める人が良いと思う。
	包括支援センターからの安否確認訪問がなくなった。
集いの場	高齢者が健康に過ごす為、ジムとかでなく、もっとまちなか近くで気軽に運動できる施設がほしい。
	目の不自由な人のコミュニティの場が欲しい。
	気軽に行ける、くつろぎの場がほしい。雨・雪の日はほとんど1日外に出ない、人と会わない時がある。気軽に行っておしゃべりできる場があったらと思う。
	カルチャーなど利用しようと思っても公民館などは遠くて、しかも2階のフロアで足が不自由なので行きたくないです。
防災	災害時の対応の取組が悪いと思う。その時の自己判断で避難か、一時的に周辺の者が集まって同じ行動を取る様になればと思います。
買い物	近くに店がなくて買い物が不便で困っています。
	駐車場ばかり増えて、日常生活に必要なものを購入できるお店がどんどん減っていく。
交通	汽車の時間にあわせて自宅から駅までの無料バス。
衛生	環境衛生サービスの不足(道路の清掃全くなし、側溝へドロ状態)
除雪	豪雪時の対策、とくに狭い道への対応。皆が高齢になり対応しきれない。
施設	病院や役所等に手すり。なるべく高齢者関係の部署は1階にお願いしたい。市役所が平地ならいい。老人は坂や階段は苦痛です。
情報	情報不足(TV,ラジオ、新聞以外は全く入手できない)

住居地の近くに日用品、食料品のお店がない。月1程度の住居への訪問・声かけ・安否確認を希望。高齢者が憩う場所づくり。などの声が多く見受けられた。
また、家廻りの除雪をしてほしい。行政の支援が必要という除雪の援助の声も多数みられる。

8、その他、自由意見

趣旨が同じ内容を整理統合し掲載したものです。

鳥取市(中心地区)	自治	<p>高齢化や少子化等により、地域の自治会(町内会)の活動に参加する人や、その役員となる人が減少、あるいは特定の人に限定されている。自治会の維持が年々難しくなっている。特に旧市街地においては、その状況が一層進んでいる。いずれの地域においても問題となってきた。自治会のみでなく、行政においても改善に関わる必要がある。</p> <p>①市や県からの連絡物の字が、小さくて読みにくい。複数の用件が兼用されている(連絡物)の場合は、わかりにくい。②駅等にイスが少ない。③バスの時刻表の字が小さい(特に100円バス)。バス停に経路のバス停名が記載されていないので、どのバスに乗ればいいのか、判断に苦しむことがある(観光客は特に)。④市内に温水プール+卓球等、幅広い年齢層が利用できる施設が欲しい(地元民も観光客も利用可能な)。</p>
	情報	地域の情報等が入ってこない。
	子ども	私達が暮らしやすくても、若い人はどうなのか？子ども達の鳥取から離れてゆくことをどう考えるのか？若い人たちの流出を考えると、将来の鳥取は…と、思います。帰りたくなる鳥取、働ける環境のある鳥取を望んでいます。
	集い	駅から県庁までの通りですが、人通りが少なくなったようです。お店もシャッターを下ろしているところが目につき、寂しいです。高齢者でも利用できる軽い運動の場所、おしゃべりをしたり疲れたらちょっと休める場所等があったら、バスを利用してでも行くのに…等と思っていますが。
	防災	水害の場合の、避難場所を示して欲しい。
	マンション	まちなかにアパート、マンション、集合住宅等が増えてくると、町内会に入らない人が多くなり、どこに誰が住んでいるのかわからなくなる。だんだんと町内会が成り立たなくなり、衰退していくと思う。防犯、防災時に日頃の町内の取り組みが活かされると思うので、まずは町内会に入ること、そして身近な活動に参加することが大切だと感じています。
	道路	高齢者が安心して出歩ける町作りをしてほしい。散歩ルートの確保(周遊できる遊歩道と休憩場所)歩行・自転車・車の分離された道、など。
	免許	県・市で考えてもらいたい事は、免許証を返却に関して、免許証返却後に割引のタクシーチケットの配布等があったら大変助かる。バスなどの乗物では目的地に着くまでが大変なので、タクシーチケットの交付を強く望む。高齢者の自動車事故が多いが返納したくてもできない。タクシーの割引券等を考えてくれたらすぐ返納したい。
	空き家	老朽化した空き家の管理。
	動物	近くに熊・猪が出没するので、こわくて散歩ができない。熊・猪を減らして欲しい。マムシも出る。市内に住んでるのにネ。
観光	観光に力を入れているという割に、現金しか受け付けない店や交通機関が多すぎる。せめて空港の往復シャトルバスは電子マネーやカードを使えるようにしないと、観光客が不便。県が店舗のカード対応に補助金を出すなどして、全県で取り組んでほしい。	
雪	<p>今年の二月の大雪には驚いた。雪が深すぎて外に出るにも一苦勞であった。買い物に行くにも困った。独居老人には雪かきは体にこたえる。街なか暮らしとはいえ陸の独島といった感じであった。なんとかならないものかと考え込みました。</p> <p>降雪時の除雪、特に狭い路地地帯等、雪を捨てる場合は行政の助力が必要と思います。</p>	
鳥取市(中心市街地活性化区域)	自治	町内会に加入していない世帯が多い。多くの人に加入していただくシステムがほしい。配布物が多く、担当者・班長の負担が大きい。各種募金を町内会に割振るのは安易だと思う。
	情報	いろいろな情報等をインターネットで確認してくださいと言われるのですが、利用できない老人は不安です。パソコンを持ってもらわず、扱えない。
	見守り	高齢者の24時間見守りサービス(緊急時用)があれば、安心できる。簡単なブザー等で。可燃ゴミを個別で収集してほしい。足が不自由でオムツ等が重い。特に冬は危ないから。地域で不足しているサービス・取り組み:ゴミ掃除当番の免除。食事の配達。

鳥取市（中心市街地活性化区域）	集い	少子化といえども、やはり子どもたちが安全安心に暮らせる地域であってほしい。近所との付き合いが減ってきている中、地域にカルチャーセンターのようなものがあつたらよいと思う。子どもからお年寄りまでが利用でき、それで自然とその地域のつながりができたり、子どもが学校から帰宅後に1人で過ごす時間も充実すると思う。安く、楽しく、みんなが集える場が減ってきていると思うので、そのようなつながりあえる場があつたら、いざ災害が起きた時も、自然と助け合えると思う。
	公園	子どもがのびのびと遊べる公園が少ない（ボール遊び禁止の場所が多い）。外遊びしない、体力の低下が問題になっているのに、部屋遊び（ゲームなど）が中心の環境になっている。
	防災	防災無線等は各地区バラバラの対応なので、人の命に係わることは同じように整備してほしい。公共交通機関を維持するために、市や県の職員ももっと利用してほしい。
	防犯	徒歩で買い物へ出たり、仕事へ行っている家族が帰宅する際、街灯が少なかったり、無い道路が多い。
	マンション	マンション居住なので、町内会に入っておらず、町内の情報は全くと言っていいほど入らないけれど、何か役にたつ事があれば協力はしたい気持ちはある。けれど、どこに話をしているのか分からない
	買い物	歳を取ると、郊外の大型店へ買い物に行くのが難しくなってくる。中心市街地にさまざまな小売専門店ができる（例えば本屋（最近イオンにできたが）、雑貨店等）、中心市街地を歩いて楽しめると思う。商店街が、魅力ある店の並ぶ町になってくれることを願っている。
	交通	高齢化はどの県でも同じ悩みですが、県としては道路のアクセスが悪く（交通インフラ）、企業の進出を阻害しています。空港、港湾もある魅力的な鳥取なのですが、交通機関の悪さが県を委縮させている。鳥取道のほか、もう1本高速道の追加が必要と考えます。直接、大阪から鳥取へのアクセスができれば、発展すると思う。鳥取道の早期完成と、大阪と鳥取を直接つなぐ道路の築造を願います。将来に向けて不安に感じていること：年金の目減りと高税金（固定資産、住民税等）
	バス	土日のバス利用できる時間21時代までであると助かります（鳥取駅発が2回くらい）。
	動物	ペットを飼っている家庭が多いので、もっとペットと散歩できる所（ドッグラン）をつくってほしい。犬や猫の殺処分をやめてほしい。テレビでも里親とかいろいろ考えられている中、鳥取はペットに対しての取り組みが少ないような気がします。命あるもの、簡単に殺さないでほしい。罰金やなにか考えてほしい。

鳥取市（郊外地区）	自治	福祉の充実が早急に求められる。町内会の区分けが広すぎる。福祉委員や民生委員をもっと増やして、市の担当者が統括し、どこにどういるのか、独居の人は元気が安否確認も必要である。もっと組織の活用が活かされないものではないでしょうか。困った時は相談してくださいと言われるが、どこに、誰に、誰が担当か等々、個々の地区のニーズに合った組織体制が必要に思われる。これから年を重ね、運転も出来なくなる。どうしたものか。
		ゆるやかな地域社会のつながりは大事だと思いますが、「負担」を感じるような町内会活動は望みません。簡素化すべきことはして、町内会活動を重く感じるような状態にはしてほしくないです。
	情報	子どもや高齢者がいる家族は、情報が早く、かつ詳細に得られるようです。しかし、他県からの移住で知り合いがおらず、しかも子どもも高齢者も家族にいないので、情報が入らず困っています。昨年の秋、熊の目撃情報について回覧による連絡もなく、かなり後になってから知りました。もう少し情報が欲しいと思います。積雪時の対策をしっかりして欲しいと思います。高齢化が進む中、人力による除雪では対応できません。しかも今年はバスも運休し、帰宅できない日が続きました。バスを運行して、自家用車の使用を控える等に転換した方が、渋滞や立ち往生も減らせるように思います。
	子ども	若者が少なくなり高齢者の増加により、地域の人間関係が疎遠になる。災害への備えが不安。病院への通院が困難になり、介護施設に入らなければならない事態が起こる事への不安も生じる。家族の関係が薄くなり、「助け合い」に支障をきたす。自然保護が出来なくなり、山や里、海等、環境の維持が難しくなる。
	防災	鳥取県東部で大規模災害が発生したことを想定した危機管理、災害対応等の県、市の政策が住民に見えない。市内の特徴ある地形、地盤を有する地域住民に対して、対応すべきと思われる。
	防犯	団地の大通りに街灯が少なすぎる。子ども達の通学路にもかかわらず、街灯がとても少なく、帰りに暗い道を歩いて帰っているのは怖い。安全、安心して暮らせるようにしてほしい。

鳥取市 (郊外地区)	買い物	居住地内に食料品、医薬品等を販売する店があると助かる。自動車の運転が出来る間はよいが、免許を返上した後は大変困る。
	バス	100円バスを駅前だけでなく、少し離れた場所(例えば中学校、高校がある場所)でも走らせてほしい。利用する方はいると思う。
		日中(9:00~16:00)の間、バスが1~1.5Hに1台しか来ないので、30分に1本程度のバス便にしてほしい。今のままだと、買い物にも通院にも不便。1日に1つの用事しか行えない。午前と午後1件ずつ行う用事があってもできない。
雪・子ども	今年の冬の大雪はとても大変でした。除雪もヘタできれいでなく、道幅も狭くて、かなり不便でした。素早い対策をしてほしい。近くに公園がなく、子どもと外で遊べない。少し遠くの公園は、ボール遊び禁止のようだ。小さい子のボール遊びができたり、すべり台はあった方がよい。町内に1ヶ所くらい公園はあってほしい。少し遠くの公園は駐車場がなく、行けない。この土地は不便ばかりである。地域の清掃活動の回数も多すぎ、負担である。	

米子市 (中心市街地活性化区域)	自治	町内の役員のなり手がなく、何年も固定化されている。
	子ども	中心市街地の人口減少に対して、定住する人々を増やすための行政施策を積極的に行うべきだと思います。元々、インフラも整備され非常に便利な地区なので、郊外へ若者が移住する流れを中心市街地へ流れるような具体策、(空き家活用、定期借地権設定特区、固定資産税減額or助成、等)を期待します。人が住まない事には、賑わいや街の活性化に繋がらないと思います。
	集い	地域の住民が集う場所(部屋)があれば、悩み解決の一步になる。商店街区域であるが、8年前にアーケード撤去後、急速に寂れる。「中心市街地活性化事業」が少しでも動けば。
	防災	災害時、県でも自助・共助などの条例が出来る様であるが、初期段階の対応に関して、地域の活動が重要と考えております。私の自治会では要支援世帯の調査も完了し、訓練等の活動をしています。若い世代の参加者が少ないので、行政側もこの部分を考慮し、対策を検討してほしい。

米子市 (郊外地区)	自治	自治会組織の弱体化が心配である。①自治会役員のなり手がいない。②自治会を不用と考える人達が多くなっている。③65~70歳までは働く時代となった今、地域で必要な役割を、仕事を理由に断られる。
		地域全体で65歳以上の夫婦世帯、または独居世帯が多くなっています。私の近所も、独居者が介護施設に入所したり、空き家になっている家が目立ってきました。若い夫婦は市内のマンション等に住み、親子世帯が少なくなり、今後の自治会活動も困難になると思います。市や県はどのような対策を考えてますでしょうか。
	子ども	若者の職業の選択肢が少ない。→若者が県外へ出ていく。→望んでいても子どもと親との同居が困難。→人口が減少する。→この問題を重く受け止めなければならない。家庭も県も衰退の道を歩む。
	防災	米子市役所からの放送が大変聞こえにくい。費用がかかるとは思いますが、市民の事を考えているなら、各戸に防災無線を取り付けてはどうでしょうか。
	防犯	子ども達や高齢者の安心、安全の第一歩は街灯の設置から。明るく安心して歩ける通学路、一般道が必須。その次は路上のルール。マナー違反をよく見かける。通学中の中学、高校生の「イヤホン自転車運転」は危ない。交差点で車が止まるのは当たり前と思いき、左右も見ずに自転車で渡る。自転車教育を疑う。地域で不足していること:街灯の数が少なすぎる。高齢者向けの趣味や勉強会について、回数と種類が少ない。
買い物	地区に買い物の店が無くなったので、自治連合会で店を立ち上げました。しかし若い人達は大型店で安い買い物をします。この地域は高齢化で買い物の額は低く、店のスタッフは無償ボランティアですが、文句も言わず我慢してやっています。本当はいくらかの額でも払えればいいのですが、それが出来ません。ボランティアの人達の確保が今後の課題です。子どもたちは少ないお金でもアメ等が買えるので、駄菓子屋も兼ねている店を喜んでいます。	
	高齢化が進み、そして空き家が増えてきました。団地内にはお店もなく、買い物に出るのも苦労します。中規模でもいいので、日用品、食料などある店が出来ることを願っています。	

米子市 (郊外地区)	交通	高齢者の交通事故が多くなっている中での、公共交通機関の利便性を充実させていく必要があると思います。①料金については安価で、乗り継ぎ割引料金。②時間帯や経路は外回り、内回り循環にしては。現在は市内循環になっていますが、便利の良い地域で循環して、郊外の不便な地域でなぜ循環が無いのでしょうか。年金生活者で市内に出るのに、片道350円～400円かかる交通費はたいへんです。③花回廊行きのバスを直行ではなく、何ヶ所かに停車しては。市内の人の年間パスポート者が増えるのではないかと。
	雪	自治会へ雪かき対策の希望を出しているが、それに対する対策法がない様です。今年のような大雪があれば、住民の年齢を考えると年々大変になってくる。市や県としても考えて頂きたい。地域で不足しているサービス・取り組み:大雪の時の雪かき対策。

倉吉市 (中心地区)	自治	地域の活動(交流)の活性化を進めたい。独居高齢者の家庭が多く、その人たちも含めた活動が更にできるようにしたい。(行事だけでなく、声かけやちょっとした相談事等)
	自治	地域の高齢化率が高くなり、後継者が必要。昨年の中部地震の被害の修理にしても、補助は出るのが費用は必要。また体力も必要となる。子ども達が帰って来て共に暮らし、町が、家族がつながってほしい。その事によって親、祖父母への思い、死への生の尊厳につながると思う。高齢者の家族のためにする喜び、生活する楽しみもある。(忍耐も必要。気遣いも必要となるが。)子どももスポーツ少年団等で忙しく、地域での姿があまり見られない。空き地が多くなり、空き店舗の活用にしても日中だけで、夜間は高齢者だけの世帯が多くなる。
	自治	高齢者世帯に対して、電球や電池の取り換え、簡単な庭木の剪定、草取り作業等、公民館で「お助けグループ」のような取り組みをして頂きたい。ちょっとした困りごとを助けるような活動が出来たらいいなと思っています。
	集い	地域に縛られない「集い」の企画場所を。高齢者の体力づくりのための広場(公園)も、適宜あると良い。屋根付きでベンチがあれば、憩いの場にもなる。
	防災	私の住んでいる町内も若い人が少なく、お昼間等に大事があった時等、どうするのか少々不安です。少子化で、通りに子どもの声がしなくなって久しいです。やはり人口減少が心配ですね。
	防犯	夜、市内でも暗い。住宅周辺は、外灯がなく危ない。日々の防犯対策にも力を入れて頂きたい。
	買い物	買い物はスーパーだけでなく、ドラッグストアや宅配も利用しています。今後、年齢が高くなると、宅配に頼ることが増えてくると思います。移動販売車や移動図書館等、「地域出前型」の店や文化施設が、まちなかでも必要となってくるのではないのでしょうか。
	交通	高齢者の交通機関について、タクシーの割引、クーポン等があったらよい。自分の家の近くで買い物ができる移動スーパーのようなものがあれば助かる。
	バス	高齢化に伴い、自動車を廃車にし免許を返上するが、バスの本数が少ない。特に土日は大幅に運行中止となっており、郊外に住む者にとっては不便極まりない。
	バス	主要部を走る巡回バスがほしいです。例として①スーパー買い物コース、②医療機関コース、③役所関係(届け出等)コース等。100円とはいませんが、低料金で。(タクシーで行くとなると高額になるため。)自家用車の利用が出来ない方、高齢者のドライバーをなくすためにも、それに代わりうる交通手段が必要ではないかと思う。
空き家	空き家	地域の空洞化が進み、今はまちなかといえども、午後6時頃でも街並みに明かりがついていません。まるでゴーストタウンです。廃屋や地震後の壊れたままの家も有り、いち早い復興を願うところです。地域はコミュニティーで成り立っています。近隣に住んでいても挨拶なし、知らない人だから…。寛容な社会づくりが一番です。自ら動いて積極的に参加して、街や居住地は活性化します。共同生活集団は古いとは言いたくないです。残念なのは高齢化、少子化です。
	空き家	まず空き家を町屋のような家へ改装する。それを学生達の下宿にし(自転車付き)まちなかに住んでもらうようにする。最初は10件ぐらいから始めて、学生達や新入社員等の若い人達に貸し出す。そして利用状況を見て、このような借家を増やす。

境港市 (中心地区)	自治	自治会や市町村からの訪問、声かけをすることが必要。独り世帯で孤独死が多い。
	集い	老人や子どもが気軽に寄って、お茶を飲みながら談話をしたり、読書が出来る場があればと思います。
	防災	地域で不足しているサービス・取り組み:緊急時の防災無線の中身(内容)が何かわからない。(連絡します。……連絡を終わります。)
	交通	高齢者の自動車事故防止の為に安全性の高い車を購入した場合の補助金額を3万円から増額してほしい。高齢者の事故防止の為に[運転を辞めさせる]のではなく、どうしたら安全に運転できるのか、対策を考えてほしい。
		独りでも外出しやすいように、車椅子等が通りやすい道路に整備してほしい。
	空き家	①最近導入されたUDタクシーは、とても良いと感じている。車イス、ベビーカー、自転車が乗せられ、乗降もしやすく、ドアtoドア。通院利用の際の割引や、高齢者割引等があれば、なお良い。②空き家が増え、倒壊や庭のジャングル化等、困っている。行政からの指導(持ち主への)をしっかりと欲している。手入れの出来ない放置物件には、税金をたくさん掛ける等の罰金を設けてはどうか。
衛生	街路樹の実が落ちて、歩く人も危なく、きたないです。花の咲く木ならば、人も気分が良いと思います。	